大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 (郵税一ケ月拾五錢)
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三三二五 營業局專用③三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

重大聲明文案正式決定 あす明治節期して發表

【東京國通】政府は一日午後二時より武漢陷落による事變新段階に處する帝國政府の態度を表明する重大聲明文案につき最後的檢討を加へた結果、二、三字句に修正をなして原案を承認し細部に亘つては五相會議に一任することゝして同五時二十分散會、引續き近衞首相、池田藏相有田外相、板垣陸相、米內海相居殘つて協議を重ねた結果一部の修正を終へたのでこれを參議會に報告承認を見るに至つた、近衞首相は二日宮中の御都合を伺つて參內、右聲明文案を上聞に達し愈々三日發表されることゝなつた▼【東京國通】武漢三鎭陷落後の事變新段階に處する帝國政府の重大聲明は三日明治節の佳節を期して中外に公表されるが、發表とゝもに近衞首相は長期建設に對する國民の覺悟を新たにするため同日午前九時十分から十分間AKよりマイクを通じて全國民に呼びかけることになつた、なほAKでは同放送を錄音しさらに午後七時半からこれを再放送する

敗敵南陽に集結

わが猛進擊に潰亂狀態 反蔣氣運濃厚化す

【石家莊一日發國通】大別山系附近において頑強な抵抗を試みた敵軍は廣東、漢口陷落と共に士氣沮喪しその大部はわが軍の猛追を逃れるに汲々として殆ど收拾すべからざる潰亂の裡に西方に向け潰走、その一部は逸早く鐵路を越へて南陽附近に集結、次期作戰に備へると稱して支那軍は糧食の強奪、青少年の強制徵募等あらゆる惡辣の限りをつくしてゐるので南陽を中心とする河南西部地區民衆の反感を買ひ漸次反軍から反蔣への氣運濃厚となつてゐる、また支那軍は漢口陷落後日本軍は必ずや漢水に沿つて遡江、南陽の死命を制する老河口を占領するは必然なりとの恐怖心から最近洛陽から南陽に移轉したばかりの河南省政府を三度內鄉に移し一部基幹を洛陽に逆戻りさせる等の狼狽ぶりを示してゐる、なほ黃河北岸にあつた正規軍第九十一軍の第百六十六、四十五の兩師は漢口、廣東陷落に戰意全く喪失し恐怖にかられ先を爭ひ退却、黃河を渡河し南下、目下南陽附近に集結中である

各地に殘敵掃蕩

魯北一帶の匪賊に徹底的大討伐を敢行

【濟南一日發國通】山東省警備の岡村部隊は漢口陷落の前日より一齊に行動を開始し、武漢の喪失を前に最後の足搔きを試みんとしてゐる第八路軍遊擊隊匪賊に對し魯北東部地區一帶にわたつて徹底的大討伐を敢行、左の如く完全にこれらの匪賊の本據を覆へした、なほわが軍は武漢三鎭陷落の報をビラとし飛行機により廿萬枚を匪賊蠢動地區に撒いたが、その效果覿面で所在の各匪賊の動搖に拍車をかけ投降、內訌するもの續出してゐる、即ち

一、對陽附近の石田快速部隊は廿四日大五莊(對陽西南方十キロ)附近で五百の敵を發見、これを猛擊掃蕩し大出部隊は廿六日臨案(對陽東方五キロ)で七百の敵匪を擊破、敵遺棄死體廿、小銃十二、その他兵器を鹵獲、更に石田快速部隊は廿七日午前十時對陽北方卅粁の王皇廟に七百の敵を急襲潰滅的打擊を與へた、敵の遺棄死體將校以下二百

二、春田部隊は續いて魯北東部の要點商河に向ひ鄉民(武定西方)附近に二百の敵を攻擊これを徹底的に潰走せしめた、敵の遺棄死體十八、鹵獲品手榴彈百四十五、小銃彈一千二百、機銃彈一千、岡村部隊の他の一部は卅一日德平(鄉民西方五十キロ)附近の敵兵を掃蕩した、鄉民附近の掃蕩戰における鹵獲品は迫擊砲彈卅三、重迫擊砲彈十、地雷三、火藥十貫、トラック一、冬衣服四百四十五、青龍刀及び薙刀無數

三、吉田部隊は廿九日濱縣及び淸河鎭(鄉民東南方卅キロ)を掃蕩した

四、德縣、陵縣附近の元泉部隊は廿九日午前九時土橋街(德縣東南方廿キロ)の約百の敵を擊破、さらに東進し陵縣城內の約四百の敵を午前十時より包圍攻擊し激戰五時間の後潰滅的打擊を與へてこれを占領した、敵の遺棄死體百八十五、鹵獲品小銃廿三、拳銃五、小銃彈六百八十五、迫擊砲彈六、その他多數なほ土橋街においては敵遺棄死體卅五、捕虜二、小銃廿一、青龍刀二を鹵獲、魯北地區において遠藤部隊は廿九日堤城屯に蟠踞せる約六百の敵を急襲潰走せしめた、敵遺棄死體五十、捕虜五

對日所要資金額は半期每に總括通知

滿洲國の統制方針

日本の對滿投資ルートの一元化の問題が各方面に於て論議されてゐるが、滿洲國政府としては五ケ年計畫第三年度たる明年度事業並に資金の具體的計畫案が年內に各特殊、準特殊會社より提出されるので、之を集計査定の上、明年上半期中に日本に於て起債すべき各社の事業內容、調達額などに就き大藏省、日銀、興銀に通知することになつた模樣である、たゞし各社の社債發行については、それぞれ各社とシンジケート銀行團との間に個別的に折衝せしめ、政府としては半期每に總括的に所要資金額を通知して統制に當る筈である

地方行政組織へ 中共、喰込を策動

省市參議會令施行さる

【香港一日發國通】重慶來電によれば去る九月廿六日重慶政府が制定した省市參議會組織命令はいよいよ本一日施行され各省臨時參議會は明年一月一日成立する筈である、右省市參議會は地方行政革新を目的とするものとされてゐるが、もともと共產黨が國民參議會と同樣組織を地方にも設置すべしと強硬に主張した結果生れたものであり、共產黨の地方行政組織喰込みが第一目標であるから共產黨勢力の合法的地方機關進出として成立後の動きは頗る注目すべきものがある

雲南の貿易統制 物價昂騰し怨嗟の的

【上海一日發國通】雲南省政府銀行富滇銀行では去る十月初旬貿易統制局を設置し同省の輸出入及び爲替の統制を行つて來たが、一日昆明よりの來電によれば、目下此統制策は雲南全省に亘り囂々たる非難の的となり外人筋からも反對の聲が揚りつゝあると傳へられてゐる、即ち同統制策は當初綿製品、石油及び外國製建築材料に限り統制を加へる見込みであつたにも拘らず事實上は雲南省へ輸入されるあらゆる物價につき嚴重な統制を行つてゐるため過去僅か一ケ月間に同省の貿易額は實に五十パーセントを減じ、これに驚いた支那人及び外國人商業關係者は統制局と懸命に折衝を行つたが遂に妥協點を見出し得ず統制ますます嚴重となり同省は物價騰貴と外國品不足に惱みつゝあると言はれる

敵砲艦を擊沈

三水の西方で砲戰

【東京國通】大本營陸軍部一日午後四時發表=十月廿九日午後敵の砲艦二隻は商船四隻を伴ひ三水西方より下航しわが陣地前二千米を偵察、砲戰を交へわが軍はその一隻を擊沈してこれを上流に擊退せり

海軍部隊の活躍

【東京國通】大本營海軍報道部午後零時四十分公表=わが海軍南支部隊は十月卅日東江において機雷四十個を搭載せる戎克一隻を捕獲し陸戰隊また江南造船所を占領、同所において英國製火藥多量を押收せるほか航空隊また縱橫の活躍を續け翁源方面の敵に大爆擊を加へ防空陣地、火藥庫を爆破、敵兵二百、軍用自動車約卅輛を潰滅せしめたり、益埠においては軍用汽艇一隻を大破擱坐せしめ、遡江部隊は掃海作業を續行すると共に航空隊と協力し敵魚雷艇の搜査に努めつゝあり

三倉庫貯藏米の差押斷行 英の抗議一蹴

【東京國通】過般の廣東混亂に乘じ英人等はあらゆる口實を設け支那人財產の自行移轉を行つてゐるが、廣東國際難民救濟委員會が過般英國總領事館を通じて我軍に引渡しを要求したる交易倉庫穀物に關し、わが軍はわが軍の徵發した支那人財產にして他日所有者を確認せる場合は何時にても適正な支拂乃至引渡しをなすべき旨闡明したところ英國側はその後支那人所有者との賣買交涉の經過を列擧、わが軍の主張を故意に曲解し自行に有利な事實のみを摘記してゐるので軍はこれが調印を拒み同時に調査の結果中村香港總領事よりの通報により前記交易倉庫のみならず附近にある華記、和豐兩倉庫の貯藏米は宋子文の名による取引なることが判明したので廿九日更に華記、和豐兩倉庫の貯藏米をも差押へを斷行すると共に卅一日英國總領事館コープ副領事に對し右徵發に關する軍の斷乎たる決意を通告した

新ルートを計畫中

佛の對支武器援助

【上海一日發國通】わが海の荒鷲の猛爆により八月初旬粵漢線が不通となつて以來蔣政權宛の武器が日に日に堆積しつゝあつたが、今次廣東攻略の結果國民政府側はこれ等の滯貨を特別仕立ての傭船で佛領印度支那の海防やフランス租借地廣州灣に轉送を開始しこれがため佛領印度支那經由蔣政權に送られる武器は益々多量となりつゝある、しかるに雲南鐵道の起點たる海防は船着き設備も惡く荷役も手間取り、一方雲南鐵道及び河內昆明間の自動車道路の輸送量も殆ど飽和狀態に達し又このルートは日本側の目をくらまし得ない等の理由から目下更にサイゴン經由のルート●計畫中と言はれる、フランス外務省は昨年秋自發的に佛領印度支那經由の蔣政權宛武器輸送を禁止する旨日本側に通告し來つたが、その後の實情はこれと反對で蔣政權宛の武器は或は農產物とか機械類等に僞裝され佛印當局庇護の下に白晝公然と輸送されつゝあつたのは衆知の事實であり最近武器ブローカーたる某國人が佛印要人から聞き得たところによれば、これ等佛印經由の武器輸送工作は總て顧維鈞駐佛支那大使と佛蘭西マンデル拓相ならびにその配下たる佛印當局の合作によるもので佛印における運輸關係官民も皆多額の賄賂で買收せられ且つ蔣宛の荷物は佛國軍用品として荷造りされつゝある事實が判明した

蔣介石、また"國民に告ぐ書"

却って嘲笑を買ふ

【上海一日發國通】武漢陷落による決定的敗戰の事實は蔣政權治下の民衆に絕望的不安と、深刻なる動搖を投げ與へ、蔣政權は今や軍事的のみならず、思想的にも重大危機に瀕したが、この事實に狼狽して蔣介石はさきに國民參政會にメッセージを送つて抗戰方針を明かにし、更に卅一日附をもつて全國民に告ぐるの書を發表絕望の國民に對して抗戰意識の再燃を強要し、悲痛なる字句を並べて夢をつかむが如き最後の勝利を唱へてゐるが、このメッセージは國民に何等の反響もなく、却つてその嘲笑を買つてゐる

孝感を占領

【朱家灣一日發國通】〇〇部隊は卅日夕合林部隊が京漢線上の敵要衝孝感を占領した事を確認、一日これを發表した

新橋を占領

【朱家灣一日發國通】快速部隊は一日午後二時西湖南岸の新橋を占領、久方ぶりの快晴に鐵路の音も高く一路追擊を續けてゐる

廣東に自衛團

市內治安維持に從事

【廣東一日發國通】廣東は去る廿一日皇軍入城以來日本憲兵と一部警備隊によつて治安を維持して來たが、最近に至り漸く皇軍の眞意を認識するに至つた一部のものにより民衆自衛團が組織され皇軍指導下に市內警備に當り難民の掠奪防止に當つてゐる、この自衛團は新政府發展の發芽であり、やがて治安回復と共に治安維持會の成立、次で廣東、廣西を打つて一丸とする南支政府にまで發展するものと見られてゐる

窮餘の廣西軍 學生て軍團を組織

【香港一日發國通】梧州來電によれば、我廣東進攻に廣西省では戰々兢々たるものがあるが、多數の軍隊を武漢防衛戰に失つた廣西軍第五路軍では迅速に學生を以て軍團を組織せしめ第五路軍第一軍長夏威を團長として大慌てゝ廣西省防衛に着手せしめるに至つた

カー英大使 貴陽着

【香港一日發國通】貴陽來電によれば、カー駐支英大使は卅一日正午昆明より自動車で貴州省首府貴陽に到着した、一日貴陽發湖南省某地に向ひいよいよ蔣介石と同地において會見の豫定であると

五臺の共產軍 五萬を殲滅

【東京國通】陸軍省情報部發表=北支方面作戰軍はかねて北支における治安の癌であつた五臺附近共產軍掃滅について周到な計畫を樹てゝゐたが去る九月下旬より行動を起し京漢、正太、同蒲、京包の四線に圍まれた山岳地帶の掃蕩を開始した、先づ北西方及び懷遠平地方面から作戰をはじめて逐次作戰を西方及び南方に及ぼし包圍圈を壓縮し五臺附近山地にこれを追込み石家莊、太原および大同方面からこれを完全に包圍し遂に十月上旬これを靈蹟五臺の山地において擊滅した、敵は趙堂、楊成武、孟閣臣および金憲章等の率ゐる抗日軍および共產軍の約五萬であつた

松岡總裁來京

松岡滿鐵總裁は兒玉大將銅像除幕式參列のため一日午後五時二十分のあじあで入江秘書役を帶同して來京直ちに理事公館に入つた、三、四日滯在の豫定

川崎民政黨總務

民政黨總務川崎克氏は一日午後九時三十五分新京驛着ひかりで來京ヤマトホテルに入つたが左の如く語る

日本の擧國一黨結成問題は政黨の內部に贊成するものと反對意見を有つものがあつて早急に實現は困難の樣だ、近衞首相も擧國一黨に大乘氣で斡旋してゐるのだが首相の相談相手になつてゐるのが政界の札附と言はれる人々で現實から遊離してゐる有樣だ、政黨にもドイツのナチス、イタリーのファシストを理想とし政黨をこゝへ持つて行かうと考へてゐる人もある

電化工業常務理事 難波氏着任

滿洲電氣化學工業株式會社常務理事就任の河北省政府顧問難波經一氏は三十一日夫人同伴來京、國都に投宿したが「また新京で働らくことゝなつたから宜しく賴む、學校を出てから十五年に亘る官吏生活から轉じて實業方面で働らくことゝなつた、會社も成立直後のことで今何も申上げることもないが各方面の協力と指導とによつて圓滿なる事業の發達に邁進する積りである」と語つた

體聯田中、三澤氏等地方視察へ

冬季の厚生運動、體育の指導獎勵に乘り出した民生部、體育聯盟では先づ北東滿の冬季酷寒時に於ける生活狀態を調査研究の上地狀に適した良策を樹てるため體聯田中主事、三澤民生部屬は哈爾濱、佳木斯、牡丹江、延吉方面に出張各地で地元居住者と座談會を開き詳しく實地に調査することゝなり一日夜出發した

人事往來

▲大河內正敏氏(理化學研究所長)一日來京ヤマトホテル
▲鈴木隆信氏(滿鐵)同
▲新居四郎氏(會社員)同
▲村岡智勝氏(三菱商事)同
▲川崎克氏(代議士)同
▲北村西望氏(彫塑家)同
▲鈴木啓正氏(鐵工業)國都ホテル
▲照井次郎氏(滿洲重要物產組合書記長)滿蒙ホテル

偶語

人間の血液にも匹敵するガソリンを節約せよと口では叫びながら何と役所の自動車の無駄使ひの多いことよ▼一寸歩いても五分間の道程それも五分の時間が惜しい程忙しい仕事があつてのことならば大いに自動車を用ひて能率を上る必要もあるが▼駄ボラを吹くために喫茶店へ外部に對する一種の見得の爲の自動車使用は斷じて默許すべきでない▼老ぼれで步行困難といふ者は止むを得ない馬車を用ふるもよからうだが完全な二本の脚をもつてゐる若者は先づ步け▼車馬賃と雖も馬鹿にはならぬ一日五千圓を下らぬといふがその金は一體何處へ行く▼在滿の若者は出稼根性をかなぐりすてゝ今少しく眞劍に生活建設を考へることだ

社說　列國の對支態度

さきには廣東が陷落し、今また武漢三鎭を失ひ蔣介石政權が一地方政權と化し去つた現在、列國がその在支經濟勢力を確保しやうとしての動きは漸く活潑となつて來たものゝ如くである。すなはち報道されてゐるところによれば、彼等は漸次從來の靜觀的な態度を放棄し具體的にその權益を擁護し且つまた將來經濟勢力を獲得せんとして種々の策動を行ひはじめたものである米國政府が日本に對して申し入れを行つた如きはその顯著なるものであらう。而して支那における情勢の變化に對して歐米諸國の出先經濟關係方面では最も切實なる考慮を拂ひつゝあると言はれてゐる。

彼等の間では私的な協議がしきりに重ねられて居り、また本國政府に對してその日本に向つてなした通牒を歡迎し支持する旨の長文電報を發した由である。また上海の英米兩國商業會議所代表者が共同會合を開き英米兩國出先經濟關係者および滿洲ならびにカナダの商務官もこの會合に參加し在支英米經濟關係者が直面してゐる現實の各種重要問題に對する英米出先の共同動作について協議を行つたと報ぜられてゐるのである。彼等のかゝる態度がやがてはその本國の意向にも反映しその新政策となつて現はれて來ることであらう。かゝるが故に彼等の動きは相當に重要視すべきものと思はれる。

たゞわれらとして彼等英米出先經濟關係者に警告したいことは、この際曾つて支那を獅子の餌食視しそこに飽くなき植民地化政策を行つて來た如きやり方は徹底的に改められねばならぬといふことである。日本は多大の犧牲を拂つていまこの大陸に新しき體制をつくり出しつゝあるのである。列國はこの事實をはつきりと認識せねばならぬ。この日本の行き方と同じ方向に立つてのみ、列國もその新しい對支政策の具體化を可能とすることが出來るであらうことを彼等は知るべきである。新生支那はもとより合理的なやり方によるその對支乘り出しを排擊するものではない。日本としてもこの良き認識、理解あつての列國の對支乘り出しを歡迎するものである。

列國としてまたこの際注意すべきことは、今後において蔣政權の宣傳策動等に乘つてはならぬことである。最後の土壇場に追ひ詰められた蔣政權は苦しまぎれにどのやうな好餌をも提供して列國の支援を求めんとするであらう。列國が若しそれによつて支那に好都合な利權を獲得し得るとでも思ふならば、それは甚しい誤謬であることをやがて思ひ知らねばならぬであらう。列國はこの際透徹した認識を持ち愼重にその新對支政策を決定する要があるのである。

南洋華僑遂に蔣政權援助拒絕
親日勢力急速に擡頭

【東京國通】卅一日大阪府立貿易館への入報によれば、現銀物資を合せて數億元に上る獻金を强制されてゐた南洋華僑は彼等の大部分の故鄉たる南支方面を攻略され又廣東を失つた事をもつて蔣政權に對する怨嗟の聲は漸く表面化し蔣政權不信任として財政的援助を拒絕する傾向が顯著となり、これと反對に親日系華僑の勢力は急速に擡頭、各市場で日本品は華僑の手でと本然の姿に立戻つてゐるが、更に進んでその豐富な財力をもつて中南支沿岸地方の經濟復興に對しても日本と提携するに至る日の近きにありと期待されてゐる

武漢陷落後の共產黨の動向
＝陝西を地盤に黨勢擴張＝

保衞大武漢は共產黨の唱導にかゝるものであるが、我將兵の勇猛と作戰の至妙は百千の艱苦を克服して遂に不落難攻の重鎭を陷れた、武漢を失つた蔣政權はその國家機構體制の中心環節を失ひ政治的、軍事的、經濟的に致命的な打擊を蒙り名實共に一地方政權と化する事は決定づけられたが此の場合、蔣と結んで且つ蔣を驅つて抗日に狂奔せしめてゐた共產黨の動向こそ最も注目さるべきところであらう

漢口を逃げ出した蔣一派が西安を死守してその殘餘の人的物的資源を總動員し「抗戰徹底」を標榜し飽くまで自己保存の策を講ずるだらう事は各工場、會社、銀行等の奧地强制移轉並に西南經濟開發策に汲々たるに徵しても自ら明瞭であるが、今日迄合作を標榜して來た共產黨が此の場合に際し如何なる行動に出るであらうか、蓋し蔣の對日抗戰の物的方面は英ソ佛その他の列强より之を受けてゐたが、その心的方面は容共聯ソの政策に現はれて居る通り偏へにコミンテルンの支那支部即ち中國共產黨との合作にかゝつてゐたからである

×

共產黨は永年に亘る蔣介石の討伐に遭ひ、陝西北部の一角に壓迫され僅かに餘喘を保つに過ぎぬ迄の狀態に淪落してゐたが、西安事變に引續き日支事變によつて國共合作が復活するに及び俄然として日支全面抗戰の舞臺上に躍り出るに至つた

即ち蘆溝橋事件が勃發するや蔣は對日徹底抗抗を決し中國共產黨と協議の結果、朱毛の名を冠して知れた朱德、毛澤東の統帥する共產軍を國民革命軍第八路軍と改稱、朱德を總司令、彭德懷を副司令に任命して北方戰線に動員する一方、周恩來、秦邦憲、陳紹禹の共產黨三首領より成る政治部は先づ南京に、次で武漢に置かれ、蔣の容共政策實踐に當つた、大部隊の作戰行動を知らず兵器劣弱な共產軍は北方戰線に參加したが、我精銳なる重火器の前に幾度かその餌食となつてからは自ら得意と稱するゲリラ戰術を高唱し皇軍占領地區內に潛入し國民黨との共同戰線の務めを果す事となつた、しかし同時に之を利用して黨勢擴張を圖る事は一刻と雖も忘れてゐない武漢旣に陷り抗日支那が將に全面的な崩壞を來さんとしてゐる際機を見るに敏なる共產黨たるもの、いかでか無關心に之を看過するであらう

我が漢口作戰が開始されるや武漢の陷落は單なる時日の問題となつたが、共產黨はその後二回の會議に於て黨の態度方針を討議した、即ち去る八月一日西安に召集された中國共產黨七全大會に於ては抗日戰線統一のため國民黨の領導に服する旨を宣言し越へて九月末延安に開催された中央委員全體會議に於ても武漢陷落後共產黨の執るべき方途に關し討議した、之に關しモスクワ電の報ずるところによれば

一、最後の勝利迄對日抗戰を繼續する
二、蔣介石を支持し支那の統合を圖る
三、國共合作の强化
四、抗日人民戰線を强化し特に日本軍の背後に働きかける

等の諸項を決定したといはれ又同會議から漢口に歸來した同黨領袖周恩來が今月六日ニユーヨーク・タイムス漢口特派員に語つた所によるも右を裏書して國內の團結强化を主張して居り依然國共合作の根本方針に變更がない事が明瞭にされた、然しながら日本軍による武漢の攻略は從來曲りなりにも蔣政權の地盤と見られてゐた支那の西北、西南、東南諸地方を夫々截然分離された分散的存在とする、この場合蔣の膝下に辦事處を設けてゐる周、秦、陳等の共產黨領袖は蔣と共に湖南省西部に遁入するかも知れないが、共產軍は三年の經營を經た西北の地盤を放棄することなく却つて一層强化するに至るであらう事は間違ひない、そして名稱の上では共同の戰線上に立つとは言へ從來より一層統制を缺如した別個の運動に分離され、殊に相互に自黨保衞の念慮から夫々勢力の扶植を圖るべくその結果、「國民黨の西南」「共產黨の西北」なる異色の存在が發生する事とならう、而して共產黨は陝西の地盤を扶育して赤色ルートの確保に努め、之を甘肅、寧夏、青海、新疆に擴充しソ聯の援助の下に大西北をその支配下に置くの方策に邁進するであらう、此の方針については共產黨は早くから計畫を立て國共關係復活後躊躇なく實行に着手したのである

×

彼等の言に從へば陝西は大西北の咽喉を扼し國防上緊要の地を占め非常時下に於ける抗戰と支那復興の重要據點たるに足り、同時に陝西の保衞は即ち大西北の保衞であるのみならず東進しては河南、山東を擬援すべく渡河しては山西の失地を回復し得べしと爲してゐる故に今春わが軍が山西を席卷するや共產黨は先づ陝西省の學生を煽動して都市より鄉村の果てに至る迄全省に亘る宣傳工作を開始し所謂全省總動員を實行して民衆を組織化し訓練したのである、その結果曾つての共產黨討伐の前進根據地であつた西安が今日では赤一色に塗潰された程の變化を呈した

事變以來四期に亘り每期二萬の壯丁訓練を實施しその數旣に八、九萬に達するが、全省一千萬人中より二百萬の壯丁獲得可能を主張しゲリラ戰に要する人員の豐富を誇つてゐる、以上は國共合作を利用した陝西共產色彩化の現狀であるが、共產黨は此の方針に基づき更に之を陝西以外の西北各省にも施し以て黨勢の擴張を期して居る、一方ゲリラ戰術により絕へず被占地區の攪亂を策し而して皇軍西方進擊に對しては天險黃河によつて之を阻止し得るとして頗る樂觀して居る

しかし乍ら、かゝる消極的なゲリラ戰の消極戰術を以て日本を倒し支那の新秩序を建設出來るものと考へるのは奇蹟を信ずるに近い

彼等はこのゲリラ戰の效果を頻りに宣傳してゐるが、正規軍を主力とする對日抗戰において極めて補助的に働いて來てすらその成績は大したことはなかつたのであるから主力の潰滅した後今日以上の戰績を擧げ得るものとはいへないのである

松花江客船運行六日で中止

松花江運行客船は來る六日午後二時哈爾濱發佳木斯向け哈爾濱丸を最後として本年度の客船運行を中止することになつた

獨國防軍首腦大異動發令

【ベルリン卅一日發國通】ドイツ政府は十一月一日附をもつて國防軍首腦の異動を發表したが、今回の異動は去る二月の國防軍改造以來最大異動でその中主なものは左の通り

主計總監　ハルダー大將
補陸軍參謀總長　第三軍團司令官　フオンボック大將
補第一軍團司令官　航空次官　ミルヒ大將
任上級大將　空軍參謀總長　シュトンプ中將
任大將　航空省器材局長　ウーデツト少將
任中將
陸軍參謀總長　ベック大將
第一軍團司令官　フオンルンシユテット大將
依願免官（各通）

なほヒトラー總統は隱退したベック大將及びフオンルンシユテット大將に特に親書を送りその在軍中の功を犒つた

英國內閣第二次閣僚更迭

【ロンドン卅一日發國通】英國政府は去る廿七日の第一次補充に續いて、卅一日第二次閣員更迭を左の如く發表した

樞相　ランシマン卿（元商相）
國璽尙書　ジョン・アンダーソン（前ベンゴール總督）
自治領相　マルコム・マクドナルド（植民相兼攝）
辭職　ヘイルシャム（樞相）

フ秘露使節團長に勳章御贈與

【東京國通】畏きあたりでは來朝中のペルー經濟文化使節團長フエンテ將軍に對し、同氏が兩國の親善と通商關係增進に貢獻せるを思召され卅一日勳一等瑞寶章御贈與の御沙汰あらせられた

滿鐵現行給與の全面的改正斷行
豫算約一千萬圓增加

滿鐵では北支事務局の北支交通會社移行後における兩會社間人事交流ならびに日本內地よりの鐵道業務經驗者の大陸導入を容易ならしめると共に最近における諸物價昂騰の實情に鑑み現行給與の全面的改正を斷行することになり總裁室人事課ならびに鐵道總局人事局において鋭意改正案の作成を急いでゐるが成案を得次第目下明年度豫算につき中央政府と折衝中の佐々木副總裁の歸滿を待ち重役會議を開催正式決定十二月一日を期し實施する豫定である、即ち今次給與改正は

一、北支交通會社設立に伴ひ鐵道省方面より約二千名に上る有經驗者の大量入社が豫想され同社內における滿鐵系社員との給與のバランスを取る必要がある
二、滿鐵、北支交通會社間人事交流の圓滑を圖るため兩者給與の平衡を必要とする
三、物價騰貴による一般給與の實質低下を防止する

等の見地から改正斷行を決定するに至つたものであるが右改正案の骨子とみられる點は

一、現行給與規定による本俸を參事、副參事級より一般職員にわたり大體二割乃至三割程度の大巾引上げを斷行する
二、附帶給與の內昭和十年制定の在勤手當を若干引下げ經費增加をカバーする
三、滿人社員中一部家族持に對し今春來實施し來つた臨時補給金制を全廢し新たに雇傭員以下に對する家族手當を制定する

等の諸點にあり、この結果給與總額においては約一千萬圓に上る增加を豫想されてゐる

關東氣象台官制

【東京國通】關東氣象臺官制に關する勅令は卅一日付官報で公布されたが官制要旨左の如し

第一條　關東氣象臺は滿洲國駐箚特命全權大使の管理に屬し左の事務を掌る
一、氣象に關する觀測調査報告及び研究
二、天氣豫報、暴風警報及氣象通報
三、地震及地動の觀測調査報告及研究
四、氣象計器の調整及研究
五、時の測定及報時
六、氣象知識及防災思想の普及

第二條　氣象臺は之を大連に置く、氣象臺の事務を分掌せしむるため必要の地に附屬測候所を置く、附屬測候所の名稱及位置は大使之を定む

第三條　氣象臺に左の職員を置く
臺長、技師（專任二人）委任官（專任一人）判任技士（專任十四人）（以下略）

協和會明年度豫算一躍今年の三倍
人容を整備、各地に會館設置

躍進協和會に豫算の惱み、協和會本年度豫算案は旣に立案を終へて目下政府當局に認可申請中であるが、事務費、人件費とも飛躍的膨脹を示し總額一千二百三十萬圓といふ本年度實行豫算三百九十萬圓に比し三倍以上の增額となつて居りその內譯は人容の整備に備ふ人件費約四百萬圓、全國各省縣本部所在地に建設豫定の協和會館六十萬圓其他工作費の全面的膨脹を示してゐる政府當局では目下この申請豫算について愼重審査を遂げつゝあり、相當削減される模樣であるが、協和會では最低額一千萬圓なければ飛躍協和會のお台所を切り盛り出來ぬとの態度を明らかにして居り、注目されてゐる

協和會臨時縣市聯開催

協和會中央本部では本年度全國聯合協議會の成果に鑑みこれを契機に會運動の飛躍的發展を期するため本部內に本部一任採決議案の處理委員會を組織し爾後工作の徹底を圖る一方、地方民衆に對し全聯の成果を浸透せしめ併せて宣德達情の實を擧げるため今年度最初の試みとして全國主要縣市において臨時縣市聯合協議會を開催することゝなつた、開催期間は十一、十二の二ケ月に亘り會期は二日間、開催地は省公署所在地十五縣並に十五都市に限定してあるが臨時縣、市聯の開催は會運動發展の證左としてその成果は非常に刮目されてゐる

伊藤公記念館哈爾濱驛新館內に設置

大陸開拓の恩人伊藤博文公の遺蹟保存に關し、哈鐵哈爾濱驛山口縣人會保存委員會等關係機關に於ては愼重考究中であるが、瀨藤驛長の提唱により近く哈爾濱驛本館改築を機會に本館內一室を伊藤公記念館に當て敎民公會堂に安置中の公の形像を此處に移すとゝもに、公に關する記念品並に各種文獻等を陳列し觀光客その他一般公衆に公開して公の偉業を追懷せしめやうと云ふ意見が有力となり、鐵道當局の最後的審議をまつて正式實現を見る模樣である

死骸の漢口飛行場

【○○卅一日發國通】日本空軍大空襲の目標となつた漢口飛行場入口の支那式の門には日章旗と軍艦旗が仲良くひるがへつてゐる、門をくゞつてすぐ

左側 に日本空軍爆擊の跡が大きな口を開き水が滿々とたゝへられてゐる、場內の建物は全部灰色の防空一色に塗りつぶされ特に大きな建物の橫腹には航空公司漢口站と空色に書かれてゐるが、建物の屋根は吹ッ飛んでゐる、煉瓦造りの格納庫がたつた一つ半潰狀態で殘つてゐるが、せい〴〵三臺か五臺位しか入らぬ狹い格納庫だ、これが武漢飛行場格納庫とは思へない貧弱なものだ、たゞ飛行場の面積だけは實に廣く場內に點々と置は竹で編み、胴體は木製、プロペラはブリキといつた擬裝機が橫はつてゐる、翼の長さ五米位で胴體に比して非常に短くずんぐりしてをり、E十六型を模倣したものらしいが、全然均整のとれぬ淺間しさだ

場內 の各所に爆彈型の十五キロ地雷が二百、三百と積まれそれには「吉野部隊掘出しの品」の札が立てられてゐる、本當にそれこそ掘出し物だが敵は滑走路を中心に場內到る所に地雷を埋め電氣裝置で一齊に爆發し飛行場使用を不可能ならしめやうと企てたが疾風のやうな皇軍の入城にそれも出來ず地雷を埋めた個所にさしこんだ標識の小旗を拔く違もなく逃げざるを得なかつたのだお蔭でわが吉野部隊や大島部隊はこの小旗を賴りに芋蔓式に地雷を掘出すことが出來たその數もすでに一千を突破してゐるからよくも埋めたものだと驚くほかはない、十五キロ地雷の外に强力な五百封度大型地雷も掘上げられた、地雷掘出しの作業隊は始め何處にあるのかわからず實に薄氷を踏む思ひで拔足差足のへつぴり腰だつたが、間もなく一定間隔で埋められてゐるのが發見されてあとは支那兵の

馬鹿 げさを笑ひながら片ッ端から掘出し今は殆ど淸掃してしまつた、一本の滑走路は百米位に幅二米、深さ一・五米位の壕が二、三本ばかり掘下げられその間には地雷を爆破した跡もあるが、橫に數本の壕がやりかけたまゝになつてゐる、こゝにも敵兵が作業中ばに逃げ去つたあとがあり〳〵と窺はれた、場外に步を運ぶと土嚢を五米ばかり積上げその上屋根を蔽ふた應急の格納庫が發見される、面積は四十米四方位で五臺と收容出來る代物ではないが、しかしわが空爆を免れやうとした敵の苦心がにじみ出てゐる

南北朝時代の古代銅壺發見

去る九月十六日敦化縣沙河橋集團部落西門山において厚さ二糎五耗、直徑九糎、重量三斤八兩、壹面に大同六年監造と銘記してある古代銅壺二個が發見された、右銅壺に銘記されてゐる大同の年號から推して今より千二、三百年前の南北朝時代に作られたものか或は七、八百年前の遼金時代に作られたものと思はれ中古文化研究の資料としても珍らしく近く中央に鑑定を依賴するはずである

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金二萬五千九百四十七圓五十錢五厘（關東軍司令部へ）
一慰問袋千三百五十個（同）
一金七十四圓軍用家畜慰問金（同）
一金三百圓也（國防館獻金へ）
一金五千一百六十八圓三十四錢（駐滿海軍部へ）
累計三万一千四百六十五圓八十四錢五厘
……十月三十一日迄の分……

讀者の領分

「朝鮮民族を批評する者の正體?」

先日紙上にて「朝鮮人たる苦惱」として議論せられたが私は一介の勞働者として自分も全極同感で有る事を明らかに意識した、私も大滿洲帝國内に居住して居る一人として滿洲國内にて其の日の糧を求めて居る事は言ふまでも無い事實である、そして目下戰局に直面して國民精神總動員及國家總動員して難局に當つて居る此の際、私も大日本帝國臣民の一人としていやむしろ現下南支廣東及漢口方面に於いて第一線にて活躍してゐる忠勇無雙な皇軍兵士の背後に立つ銃後の一人として果すべき任務を指命されて居るではあるまいか?そして朝鮮二千萬同胞の腦裏には各自分は立派な大日本帝國臣民たる事を確認して居るに相違あるまい!何故朝鮮民衆はこれ程輕蔑を受けねばならんのだらうか?

何故日本内地人は朝鮮民族を輕蔑せねばならんのだらうか?、朝鮮民族は皆が自分の良心を僞る惡人で有らうか、そして日本内地人は皆が善良で有りそして聖人や神の如く義理や道德を守る清純潔白なる心理の主人公で有り得るだらうか、もし皆が左樣で有るとしたら、共に法律や民衆保護機關としての警察は一體何んの現日本社會に必要が有あらう?同じく地球上に生存する人間として何んの變りが有るだらうか勿論人種や言語風俗は異るとしても人間としての魂に何んの變りは無いのでは有るまいか?そて朝鮮民族的觀念を清算して内鮮互いに手と手を結び合つて最早四十年と云ふ長い歳月が立つて居るではないかしかも我々朝鮮民族に「第二」の大和魂が有るとしたら日本内地人とは兄弟ではなからうか、言語風俗は異ふとしても兄弟としての思情に何んの差別が有るで有らう!

私は民族協和を叫ぶ半面に民族平等主義を叫びたい次第である、私しは何よりも人を批評する前に於いて自己を反省してもらつてほしいものがある!自己の反省なくして人を評するに盲目で有り且認識不足ではなからうか?確實明瞭なる理由や原因なくして民族的輕蔑するは東亞の「神國」大日本帝國臣民として義理や道德的脫線でなくして何んであらう目下天に代つて不義を討つ戰線の皇軍勇士の尊き犧牲の英靈に對し何んの申し澤が有るであらう、私は讀者の一人として現社會を盲目視する人間に對しもう一歩進んで愼重に考慮せられん事を切望す、只私は彼筆者に對し餘り自繩自縛に陷らざらん事を望む次第で有る　(XYZ)

大同出炭早くも事變前を凌駕

中西滿鐵理事現地視察談

北支方面視察中の中西滿鐵理事は卅一日午後四時十分飛行機で歸寧したが語る

今回の北支出張は北支事務局の北京移轉以來未だ一度も現地を觀てゐないので、北支交通會社設立を控へ今次職制改正後の業務狀況特に大同炭礦の現狀、蒙疆方面等を視察するため殆んど飛行機により大急ぎで各地を飛び廻つて來た、この間偶々廣東並に武漢陷落の快報に接して感激に堪へなかつた、北支でもいたるところ歡呼と萬歲が爆發し大變な慶祝氣分であつた、この陷落の報が北支の敗殘兵にも忽ち知れ渡り無敵皇軍の威武には今更の如く襲ひ上つたゝめか匪賊の蠢動も大分收まり皇軍將兵の絶えざる奮鬪と善良な一般民衆の協力により更生北支建設の步みは着々と進められてゐる、大同炭礦は早くも事變前の狀態を追ひ越し相當の出炭增加に成功してゐる、近く機械軌條設備等の擴充完成により著しく出炭率を增すことにならう、職制改正後の北支事務局業務も漸次軌道に乘り各線等においてもわづか二名乃至三名の邦人從業員が指導的立場に立ち獻身的な奮鬪振りを示してゐるのは實に心强い限りであつた

なほ同理事は一日午前二時五十五分發列車で大連に向ふ筈

北滿視察を終へ　田中中銀總裁談

田中中銀總裁は去る廿六日以來地方行務の視察と軍慰問を兼ねて北滿地方に出張中のところ卅日夜哈爾濱より歸京したが卅一日總裁は往訪の記者に次の如く語つた

例によつて今年も大變忙しい旅行だつたが好天氣に惠まれ豫定通り黑河、北安、綏化、齊々哈爾、昂々溪等々の支行を歷訪し地方行務の實情を聽取し且つ軍を慰問して心からなる感謝の意を表して來たが、寒風肌をつん裂く北滿の曠野に國防の重大任務を果して並々ならぬ辛勞をしてゐられる姿には眼頭が熱くなるのみであつた黑河では黑龍江を隔てゝブラゴウェの街を眺めたが、河岸一帶堅固な防備を整へてゐる姿が八百米を隔てたこつちの岸から肉眼でハッキリ見える、國境の第一線に行くと自ら一層の緊張を覺えしむるものがある、歷訪した各地の支行は滿人行員が大多數であるが日人行員と一體となり第一線の將兵のやうな緊張した心掛けで地方產業の開發金融の圓滑化といふ重大任務に專念してゐる有樣を目擊して愉快であつた、特に齊々哈爾の如きはつい最近わが分行を中心に齊々哈爾銀行協會が結成されその發會式には軍官民共各方面の有力者が出席して協會の使命達成を强調力說されたさうだが、時節柄注目に値する事でかうした機運は既に各地方に芽生えつゝあるを觀取した由來北滿は特產金融が主であるが治安の確立につれ富源開發の諸事業が日增しに勃興し、金融も活況を呈し至るところに新興氣分が横溢してゐる實情をつぶさに見聞したが、特に感じたことは地方民が冷靜そのものゝ如く何れも業務に精勵し何ら支那事變の惡影響などといふことなく地方經濟は力强く伸び行きつゝあることであつた

下旬日本對外貿易　輸出の旺盛目立つ

十月の輸出二億五千二百萬圓

【東京國通】十月下旬における日本對外貿易は輸出入とも前旬に比して振ひ、ことに輸出は依然堅實な步調を示したゝめ、引續き二千七百二萬一千圓の巨額な出超を示現したこの結果一月以降の入超累計額は八百十六萬圓と稀なる少額に收縮し、來旬における貿易尻はいよ〳〵出超に轉換するものと觀測されるに至つた輸出旺盛の原因としては輸出振興策として期待されリンク制がやうやく本格的にその效果を發揮してきたことがあげられる、すなはちリンク制の設定されてゐる各種重要輸出商品中毛織物を除いては九月までは値下りを豫想して海外市場において一般に回避されてゐたこと、輸出のコスト高が禍ひしてゐたことによりその進展が阻まれてゐたところ十月に入るに及んで輸出値が調整されるとともに海外筋の買付はじまり勞々當業者もリンク制の機構運用に馴れたゝめリンク商品の輸出を好轉せしめたもので本年一月以降の輸出金額を月別に見ても本月が二億五千二百餘萬圓とその最高を示してゐるのもこれを物語つてゐる

對歐大豆運賃の大巾引下げ　廿七志六片で約定

歐洲運賃同盟は大豆の對歐運賃率を最近まで比較的高率の卅二志と定めてゐたが、その後歐洲の政局安定と船腹不足緩和ならびに船腹約定の閑散により去る廿日より四志半下げの廿七志六片で約定に應じてゐる、大豆の出廻りは季節的關係その他により約一ヶ月遲れてゐたが近來弗々增加の傾向となり最盛期も目前なので對歐運賃安と相俟つて輸出は次第に旺盛に向ふのではないかとみられ期待されてゐる

豆稈パルプ　開原工場　三月迄に完成

第一期計畫年產一萬五千トンを目標に着々準備中の滿洲豆稈パルプ會社では開原に建設中の同社第一工場がセメント入手に圓滑を缺いだため豫定より稍々遲れてゐたが本年末迄に完成の見込で明春三月頃にはスウェーデンに發註中の機械も到着据付を終ることゝなつてゐる、しかして豆稈購入に當つては專ら農事合作社に依賴し豆稈パルプ生產開始によつて惹起さるべきことある豆稈の價格の昂騰を抑制すべく豆稈の公定相場の決定をも合作社に依囑し現在開原の第一工場には同地方の豆稈を既に多量購入貯藏を開始してゐる

製粉聯合會總會

需給兎角不圓滑のため、時に暗相場をすら呼んで一般生活を脅かした小麥粉も最近の出廻り期に入つたのと近く實施される公定價格の前觸れに一應安定したので製粉聯合會も安堵の態であるが、同聯合會は將來の小麥粉需給計畫に就て各工場の生產能力を按配し既に立案、明年度においては今年度の轍を踏まざる樣愼重研究中で來る廿一日哈爾濱で總會を開催、右案の下檢討並に同會の機構强化に備へて一部定款の變更、統制規定の一部改正、小麥粉割當等を附議する筈である、尚同會與平理事は一日あじあで哈爾濱に向ひ同所取引所の落成式に參列後六日頃家族同伴歸京、新京に常住することになつた

滿炭社債一千萬圓　年内發行に決定

【東京國通】滿洲炭礦の社債發行に就いては過般來興銀に於て市場の狀勢を打診中であつたが、卅一日同社シ團代表は興銀に參集協議の結果、年内に擔保附を以て社債一千萬圓を發行することに決定した條件は利率年四分三厘アンダーパー(發行價格百圓に付九十九圓五十錢)期限十ケ年の豫定

朝鮮殖產銀行　倍額增資

【京城國通】朝鮮殖產銀行では鮮内に於ける各種產業資金の需要激增に對應すると同時に債券發行餘力の擴充に備へるため、現在資本金三千萬圓を六千萬圓に倍額增資する(全額拂込)ことに決定し、廿六日内認可を得たので廿七日午前九時半林頭取よりこの旨發表した、よつて同行では來月中旬臨時總會を開き增資決議を行ふが增資新株の第一回拂込は來年三、四月頃とする方針である

滿洲鑄鋼　倍額增資

滿洲鑄鋼では鐵道、鑛山用材の現地調辨を目標に昨年十二月第二期擴張計畫に着手、この程完成、年產一萬五千瓩となつたが今回さらに倍額三萬瓩の第三期擴張計畫を企圖これに伴ふ同社資本金五百萬圓を倍額一千萬圓に增資する意向で右につき親會社たる神戶製鋼と事務折衝のため内地出張中であつた同社常務取締役久芳道雄氏は卅一日入港熱河丸で歸滿したが語る

第三期增產計畫のプランは既に決定、滿洲國側の要望もあるので是非實現を圖るつもりでゐるが、親會社の神戶製鋼自體の擴張計畫に引つかゝり豫定より少し遲れるかも知れぬ、然し出來るだけ早く着手する積りだ

朝鮮棉花三割增收豫想

【京城】本年度朝鮮棉花は目下收穫期に入り、各道でも共販を實施中で市場出廻も例年に見ざる好調を來し甚値六十二圓で取引され既に取引濟數量は五百萬斤を突破してゐるが、此調子なれば本年共販總數量は一億二千萬斤を突破すべく豫想され、殊に本年は各生產業者も時局を深く認識して自家用實棉一億斤乃至一億二千萬斤内外を共販市場へ廻送してゐるから例年より二割乃至三割五分以上增加するものと見られてゐる

商況欄　一日後場

●大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
土木	[illegible]	—

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
滿取	—	—
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	—
滿業	[illegible]	—
同新	—	—
日產	—	—
五品	[illegible]	—
滿鐵	—	—
同新	[illegible]	—
鐘紡	[illegible]	—
同甲	[illegible]	—
電乙	—	—
日醬	—	—
新郵	—	—
化學	—	—

新京取引市況

先物	寄付	引	出來高
●大豆			
十一月限	[illegible]	—	[illegible]
十二月限	—	—	
●高粱			
九月限	—	—	
十月限	—	—	
十一月限	—	—	

手形交換高(一日)

枚	[illegible]

錦ケ丘高女生　母國修學旅行記

第二信(上)　牛田瑠璃

▲十月二十一日　あゝとう〳〵毎晩夢にまで見た母國日本が目の前に迫りました。何とも言へない唯もう涙が出さうな氣持でじつと窓から見てゐると、船は波をわけながら靜かに〳〵岸へ近づいて行きます。氣持のよい海の朝風がひんやりとほつぺたを撫でゝ行きます。十年來の暴風といはれた昨夜の大波は忘れた樣に治つて海は大變おだやかです。

もう數分で母國の土が踏めると思ふともうじつとしてゐられず、窓をのぞいて見ては荷物をまとめて下船の用意をしたり、立つたり、坐つたりして心が落ち着きません。船の着くのがとても遲い氣がしてならず時計ばかりを見てゐましたあと十分、五分、ボー〳〵と汽笛を鳴らして船は到々下關に着きました飛ぶやうな思ひでやつと上陸して路へ出たときには嬉しくて思はずお友達の手を握りしめました。たつた八時間しか船に乘つてゐなかつたのに隨分久し振りで土を踏んだやうな氣持がしました。山陽デパートの食堂で朝食をすませて後下關を出發しました。途中車窓からは黃色くみのつた稻が重たさうに頭を下げてゐるのを始め赤く陽に光つてゐる柿、葉の間からちら〳〵見えてゐる眞赤なざくろ。無花果又は木造の家、藁葺の家などの珍らしい景色が廻り燈籠の繪の樣に次々に目に映りました。車中の一隅からは「今は山中今は濱…」と歌ふ聲がきこえます。本當に其の歌の通りの景色です。

驛毎に熱心にスタンプを押す方、食べるのに餘念のない方、ハーモニカを吹いてゐる方、汽車の窓に顏をつけて外の景色をうつとりとながめてゐる方等々、車中にはたえず賑やかな笑ひ聲があふれてゐます所々日章旗の見えるのは出征なさつた方のお家の標ださうです、さすがに心が引きしまり日章旗の見える度に心をこめてお禮をしました廿一日午後一時五十七分やつと私共は宮島に着きました。そこから靜かな海を渡つて日本三景の一つである嚴島に着きました私共が步いて行くとどこからか鹿が人なつつこく寄つて來て頻り食物をねだるのには困りました。集印帳をなめられてびつくりしててんてこまひをなさる方もありました。お荷物をおあづけして嚴島神社へお參り致しました其の間にも先刻の鹿が澤山集つて來ました。後には落着いた綠の山を背負ひ、前には空色の海をかまへて朱の大きなお社が立つてゐました。これが嚴島神社です。

御案内の方に連れられて此中を殘らず見せて頂きました引潮である爲大鳥居も全身を出してゐました。潮の滿ちてゐないせいもあるでせうがあまり大して「美しいなあ」とも思ひませんでした。こゝの見物を終つて後の山に登りました。本當の美しさは此所から海の方を見下した時だらうでこれが嚴島の美の八〇パーセントを占めてゐるさうです。先刻の景色は二〇パーセントしかないのだと聞いて安心しました。時間の都合上頂上までは行けなかつたのは殘念でしたが中途の山から見た景色でも素晴しいものでした。すぐ眼前にはあの大きな鳥居がどつかりと立つてゐるし、向ふには鏡の樣な内海の上に大小の島々がぽつくりと浮き出てその島の間には白い小さな帆が點々と見えます。まるで繪のやうな感じです。「新京にこんな所があつたら滿足はいづもここになるわね」「私どんなに遠くても毎日來るわよ」等と言つてゐらつしやつた方もございました。本當に此所に來ると歸るのがいやになつてしまひます。ぼんやり見てゐると、案内の方が「もう行きませう」と言はれたのではつと我に返りました五重の塔千疊敷等をみて宿に歸る途中の路の兩側にはおみやげを賣る店がぎつしりと立ちならんでゐました。此所の名物はおしやもぢださうで女中さんたちもしやもじのことをみやじまさん〳〵と言はれます

家庭

難産の原因をなす "ハイヒール"の害

高いほど益々悪い

國民體位の向上は先づ母になる婦人からといふので帝都職業婦人の厚生懇談會が過日開かれましたが、その席上電話局、簡易保険局、百貨店、銀行、會社などの人事課長、婦人監督たちは都下十數萬の勤務婦人の健康保全のために、ハイヒール全廢、ズック靴採用を提案し、緒方厚生省事務官も双手をあげて賛成しました、それについて『ハイヒールの醫學的批判』……

高ければ

一口にハイヒールといつてもかゝとの高さの寸法は色々です、しかしかゝとが高ければ高い程身體に害を及ぼすことはハイヒールを

常用 してゐる女性の身體検査をして見ればすぐわかります、先づ高いかゝとの靴を履いてゐると骨盤の變形が起ります、素足で直立した時骨盤が一定の角度に傾斜してゐるのが生理的なのですが、ハイヒールはそれを正常以上に曲げてしまふのです、從つて發育時代の若い

女性が何時も背伸びしてゐるやうな格好で歩いてゐると結婚後お産の時に思はぬ障碍を受けます、次にハイヒールは身體を不安定にします、それで纏足の支那婦人がさうであるやうに不安定な身體を支へようとする努力が積り積つて腹筋(腹部筋肉)の異常發育を來します、延いては内臓諸器管に悪影響を及ぼします、腹筋の異常發育がお産の場合に大きな障碍となることは勿論です、それからハイヒールは

人間 を不活潑にします、實用向の履物とは斷じて申せません、從つて仕事の能率も上らず、殊に時節柄、あんな格好は見た眼にも感心しないぢやありませんか兎もあれ歩行は一種の體育運動です、ハイヒールではそれが出來ません、爪先ばかりで歩いてゐるから背骨も異常にわん曲して來ます、早い話がハイヒールは正しい女性の骨骼、體形を生れもつかぬ片輪にしてしまふ恐ろしい履物です

白粉 含鉛見分け方

▽……まづ原料からいへば、二つに分れます、(一)米トウモロコシなどの澱粉を使ふ植物性白粉、(二)亜鉛、チタニウム(ペイントなどの原料にする亜鉛系鑛物)と鉛などの鑛物性白粉

▽……植物性白粉は植物澱粉の粒子を高壓扇風器で吹きつけて極く粒の細いもののみにしたもので舶來白粉の大部分は之です、舶來の染料溶濟吹きつけ式のものは、皮膚に浸込むので下級品を使ふとシミの原因となる

▽……國産品に多いチタニウム製品は今の處日本人の肌に最も適當したもので、日本人が好む白いお化粧にもつてこい、鉛と違つて皮膚にも害はない、成可く粒子の細いのが上等品です、鉛を含んだものの見分け方は白粉に指を突込んで見て小栗粉や片栗粉等の様なキュッ〳〵とした感觸がひどいのは鉛を含んでゐると見てよいでせう

果物の消毒法

果物を皮ごと食べるのは、榮養の上から大いに奨勵さるべきですが、この場合は決して水洗ひでなく十分に消毒して食べるのが、衛生上からは大切です。それには林檎、柿などのやうな固い皮のものならば、洗濯石鹸水を作り、これで一通り洗ひ、後に清水でよく洗ひます。

▽……洗濯石鹸には消毒殺菌力が僅か溶かした水で洗ひ、さらに清水で三、四回も洗へば十分です。

過マンガン酸加里は無臭ですから、食物にイヤな藥品の臭ひをつけることは絶對にありません。

洗濯石鹸には消毒殺菌力があるので、申し分のない消毒ができるワケですが、一層かんたんな方法はアルコールでさつと拭いても結構です、次にぶだうのやうな柔かいものは、過マンガン酸加里をごく

襖紙の常識

△……襖の上貼りに使用する材料は、雁皮織、シルケット紗織、有馬唐紙、楽水紙、鳥の子、新鳥の子、芭蕉布、更紗太織絹地などがあり、模様には版木の押形から描繪があり又生地には金砂子、金泥、銀泥等を施して極彩色の光琳狩野派等の花鳥山水等を描いたりします。

△……色調は、南向きの明るい部屋を和げたり、廣い部屋をこぢんまりさせるためには青、綠、灰色がゝつた落着いた色を撰び、光線の薄い部屋とか夜分多く使用する部屋には、明朗で暖かい黄、橙、赤褐色等を用ゐるのが常識となつてゐます。

渡り鳥のお話 二萬二千哩の大旅行をいたします

「一番遠くまで飛んでゆく渡り鳥はどんな鳥でせうネ」「それはホッキョクアジサシつていふ渡鳥ださうだヨ、なんでも北極にちかい附近で繁殖して、雛どりが巣だつやうになると、親どりが先にたつて、廣い海をわたり、高い山をひと飛びして南へ南へと飛んでゆく、數ケ月で殆ど南極に近いところへつくんだつて何とその距離は一萬一千マイルに近いヨ、それからまたもとの繁殖地にかへるんだから往復二萬二千マイルの大旅行さ」

「そんな遠くまで飛んでゆくの、淋しくないかしら」「淋しいよりこはいだらうネ途中で鷲や鷹などのすごい鳥に襲はれる危險があるからネだから渡り鳥は何萬羽もの仲間がいつしよに大群をなしてとんでゆく、渡り鳥がとほると空は暗くなるほどだ、それからまたコッソリ夜空を飛んでゆく渡り鳥も多い。暗いのでよく道に迷つて他の大きな鳥に食べられたり、燈臺の灯めがけて飛んで行つてはぶつかつて無殘な死にかたをする可哀さうな鳥も少くないとサ歐洲の西海岸にあるヘリゴランド島の燈臺では一晩のうちに一萬五千羽もぶつつかつて落ちたことがあるつて、日本の燈臺でも青森縣の先つぽにある尻屋崎の燈臺には、いつもよく渡り鳥がぶつつかつて朝みると無數に海岸の砂地に落ちてゐるさうだヨ」

健康相談

○○の悪癖に悩む

(問) ○○悪癖に染まりました爲め神經衰弱、記憶が減退等の症狀に悩んで居ります、何か適當な治療方法はありますまいか御教へ下さい (落葉)

二十才の男子、過度○○により體は極度衰弱になりました、今は喘息等の症狀に困つてゐます、良い方法がありましたら御教へ下さい (李自温)

二十才の青年でございます十七才の時○○の悪習にかかりまして今日は身體が衰弱して健忘の症狀に罹り、戸外運動を激しくやりますが無効です良い方法御教へ下さい御願ひ致します (一讀者)

(答) ○○の悪癖に悩む方に御答へしますす元來○○の如き醫藥や治療に頼るべきもので無く本人の精神、意志の力で、斷乎劣情を退ける様努力しなければなりません、この意味で下らぬ妄想に閉ぢこもらず戸外にて適度の運動、勤務もぐん〳〵積極的に勤め讀書も偉人の傳記等の健全なるものを選び常に自分の心を高く純く持つ様に努力する事です、以上御答へした通りでありまして皆様が之を確實に實行すれば醫藥等に頼る必要なく○○の悪癖は自然的に治る筈であります (回答者新京特別市祝町保健所健康相談所醫員白石義夫)

コロチャン 「紹介ハヅカシイ」

ヤア ウムガ キルンダネ
オハヨウ
バカッ
キミ ソンナ コト オシヘルト シカラレルヨ バカダナア
ポン チャーン
ヨンデルカラ イッテクルヨ
イマノウチニ ウント オシヘテヤレ バカッ オタンチン ヒヨットコ
エート トンマノ ハロマ

けふの番組

〔M・T・O・Y 新京放送局〕 二日 水曜日

○……朝……○

七、〇〇ラヂオ體操 入港船のお知らせ(大連)

七、二〇ニュース

七、二五初等滿洲語講座(大連) 幸勉

七、五〇朝の音樂(大連)

八、二〇氣象通報

八、五〇趣味體操

九、〇五經濟市況(東京)

九、三〇經濟市況(東京)

一〇、〇〇家庭講座(奉天) 十一月の衛生メモ 岡本梅之助

一〇、二五料理獻立(哈爾濱)

一〇、五五家庭メモ(哈爾濱)

一〇、四〇經濟市況(大連、新京)

一一、三五經濟市況(大連)

一一、四〇經濟市況(東京)

一一、五九時報(東京)

○……晝……○

〇、〇一晝の演藝(大連) 室内管絃樂 聖ケ丘室内管絃樂團 指揮 木村遠次

一、行進曲 進め十字軍 ロベー作曲

二、圓舞曲 東洋のばら イワノヴイッチ作曲

三、序曲 水仙 シユレベレル作曲

引續き講談社提供キングレコード

流行歌 A「娘馬子唄」 三門順子 B、日の丸抱いて 南郷朝男

〇、三〇ニュース(東京、新京)

一、〇〇經濟市況(大連、新京)

三、〇〇經濟市況(大連、新京)

三、二〇經濟市況(東京)

四、〇〇ニュース(東京)

氣象通報、ニュース(新京)

四、四〇經濟市況(大連、新京)

○……夜……○

五、二〇ニュース(鮮語)

五、三五演藝(奉天)

六、〇〇子供の時間(大阪) 幼兒童話 ラヂオの繪本 オ店ノ巻 オハナシクラブ

六、二〇コドモの新聞(大連)

六、二五趣味講演(奉天) 支那料理の珍味を語る 片山滿城

七、〇〇ニュース(東京)

七、一五前線より 引續きニュース、告知事項、番組豫告(新京)

七、三〇國民歌謡(東京) 新鐵道唱歌 指導 杉山長谷雄 合唱 鐵道省洲鑒合唱團 伴奏 東京放送管絃樂團 北陸線 直江津=金澤 相馬御風作詞 杉山長谷雄作曲

七、四〇講演(東京) 皇軍戰傷病兵の近況と診察とについて 陸軍醫務局長陸軍軍醫中將小泉親彦

八、〇〇獨唱(東京)

◇第一部 テナー 木下保 ピアノ伴奏 水谷達夫 シューマン作曲

(イ)胡桃の樹 (ロ)月夜 (ハ)自由の想ひ (ニ)汝は花のごと (ホ)獻呈

◇第二部 ソプラノ 井崎嘉代子 ピアノ伴奏 黒澤愛子 歌劇「ナキゾ島のアリアドネ」より リヒアルト・シュトラウス作曲

八、三〇常磐津(大連) 常盤の老松 淨瑠璃 常磐津綱文字 三味線 同 富若 囃 と め

八、五五歌謡曲(大連) 御おも葉『コロムビア會社提供レコード』 二葉あき子

九、〇〇尺八(東京) 壽の調べ 青木鈴慕 伴奏 コロムビアオーケストラ

九、一〇ラヂオドラマ(東京) ばつかり帳 知識大作・作 秘竹大船連中

東京無線

演出 AK演出班 伴奏 東京放送管絃樂團 上山草人 嶺美佐子 中川濤子

九、三九時報、ニュース、ニュース解説(東京)

氣象通報、ニュース、告知事項、番組豫告(新京)

一〇、三〇ニュース再放送

一〇、四〇北滿の時間(哈爾濱)

アナウンサー 小澤(晝) 荒井 田中(夜)

講談社の繪本 最新刊三冊

◇十月下旬發賣の「講談社の繪本」は「乘物畫報」「日本武尊」「面白漫畫まつり」の三冊、各五十錢である

◇「日本武尊」は田中良畫伯の謹書之に西條八十氏の謹解を附してゐる、その扱ひの町重さも好感をもてるが特に田中良畫伯の擬り性と丹念さが考證に苦心の跡の見えるのは結構である國史參考書として、上級小學生に與へても恰好のものであり、これだけの愼重さを以てしたのは蓋し當然とは云へ大いに推賞してよいものである特別讀物として「戰線銃後感激美談を蒐錄してゐるがこれは時節柄文句なく喜ばれるもの繪本としては上乘の出來である

◇「乘物畫報の方は蒐錄した乘物の種類の多いのと範圍の廣いのを推賞したい、遠く外國の珍奇乘物まで集めた子供繪本は恐らく巷間にはなく、この繪本の誇つてよいものである、正確さもまたこの本の右に出るものはあるまい

◇「面白漫畫まつり」には非難に價ひするやうな駄漫畫もなく子供のものとして適當なのがよい「乘物」の方と共に盛に新進畫家を登場せしめてゐるのも誌面に熱があつて好感が持てる

學藝

短篇 煙草(上)

新井翠若

内地でマゴマゴしてゐるのだつたら、滿洲へ來い、といふ石黒の忠告に従つて、村木が新京へやつて來たのは八月の中頃だつた。石黒が間借してゐる屋根裏の部屋に一緒に寢起きして、會社も石黒の世話で同じ所に勤める事になつた。

九月の初めの日曜に、村木は一人で馬車を驅つて南嶺の戰跡を參拜した。その時、はからずも見た、あたりの野原の雜草の寒々と末枯れた景色に村木は思はずゾッとした。それは丁度内地の十月の末の景色であるではないか、「この分では、冬の寒さが思ひやられるぞ。」村木は、内地を發つ時、これだけは如何しても必要と思はれるものの外は、みんな屑屋へ賣つて來た。今更自分の不用意を悔んでも始まらなかつた。

ポケットから煙草を出して火を點けて、丁度そこに「無料休憩所」と看板の立つてゐる店があるのに、わざ〳〵そこを避けて、小高い丘の草の上に腰を降ろした。村木の喫つた煙草はアロマであつた。内地で、晩を日に三箱も喫つて少々中毒氣味になつてゐる村木の舌は、味の異る滿洲の煙草の味に却々なじまず、アロマだとか、スペアだとか、ミューズだとか、様々の煙草を取替へ取替して喫つて見てゐるうちに、如何やら煙の多い味の割に輕いアロマの味が少しづゝ舌馴れて來て、若し近所の店舗にも、露店にも、それが無い時には、わざ〳〵城内の露店まで買ひに出かけたりするのであつた。

吸ひさしの煙草の火を、新しい煙草にうつして大きく吸ひ込んで、村木は「煙草ばかりが眞實なり」と譯の解らぬ獨り言をつぶやいた。もつともその獨り言は全く意味の無い事ではなかつた。内地にゐる時、村木は滿洲へ行けば、煙草が安い、寫眞機が安い、ウイスキーが安い、チョコレートが安いと、滿洲の物價の安い話ばかり聞いてゐた。來て見ると大違ひで、新京の物價は目の玉の飛び出る位高くてパンツ一枚、ハンカチ一枚でも思ふ様には買へなかつたその中で、味は稍々劣るけれど煙草だけは確かに安かつた煙草好きの村木の心はそれで隨分慰められるのであつた。

煙草の煙を、靜かに吐き出すと、煙はゆるく輪を描いてやがて空の色に和して眼界から消えて行く。「煙草ばかりが眞實なり。」村木は再び獨り言をつぶやいた。

謹みて詠ず

遠江登志夫

記念公會堂に皇軍御遺骨を拜す

極樂成佛の文字でかく〳〵と記しある前に神靈(みたま)は置かれてありけり

國のためゆきし、つはもの、は神なるに極樂成佛の文字はおだやかならず

我ひとりたゞやすらかをこふならずみまかりてなほ國まもります

讀經のかろきながれは堂内にひゞかひながらものしづかなり

極樂成佛の文字頭の中に消えやらず今ありありと目に迫りをり

つはものは護國の鬼と化しなほも生けるが如く國を守れり

滿洲人物會見清談(一)

吉田直志

人物論の貧困

「滿洲人物會見記」といふやうなものを隨筆風に書いてみないかとのことだが、滿洲に來て漸やく半歳。南北の滿洲を驅け廻つて色々な人物とも會見はしたものの、さういふものを書く氣が起らない。その理由は何故であるか、自分にも自分の確かな氣持ちは判らない。尤も自分を自分によく判つたら、古代の賢哲の「汝自身を知れ」とまで、それが最高の眞理とされた、といふやうなこともないであらうが。この事を除外して考ふるなら、滿洲が今日全滿隅々にまで王道の普ねく天下太平であることに起因するであらうか。

凡そ天下が太平であれば、それに對する人々は、何れかといへば自己の性能を發揮し難いもののやうである。尤も無才にして何も抱負もなく定型的人物にとつては別かもしれぬが。昔は豪傑連中は天下太平のときは腕をさすつて神社に參拜して祈願するに曰く「天下動亂」だつださうである。それを聞いた無能平凡組は膽を潰したさうだが。腕に自信のある者にとつては、さうも祈りたくあらう。何となれば天下動亂に於ては、自己の特色が發揮されるからだ。平素大きいことを言つても、さうした際にはその眞僞が判別される。「家貧しうして孝子出づ」とか「國亂れて忠臣現はる」とか、さういふ原因は何故であるか。

今日の滿洲はいふまでもなく天下太平である。王道樂土とでもいふべきか。かうした際に跋扈するのはかういふ言葉が惡ければ遠慮してもよいが得て小人物が古來からの例ではないか。今日時を得顏にといつても語弊があるかもしれぬがともかく「名士」の列に入つてゐる人々の多くは「ともかく」いくらかの苦勞はあつたらう。けれどそれはどれほどのものであつたらうか。かういふことを書いては重々失禮の極みと思ふ。

建國頃の志士

今日の滿洲が建國前の滿洲でありそしてその頃滿洲にゐて色々な人物に會つてをる處へ、かういふ注文があるならば、筆者にとつては願つたり叶つたりだ。そこには色々な人物が、さまざまなる抱負と形態のうちにあるであらうから。今日の滿洲を作りあげた人々は誰々か。色々な人物もありそして無名の人物もあるだらう。筆者のひとり考へかもすれば頭山滿翁など忘れてはなるまいと思ふ。黒龍會の内田良平翁とか。或は杉山茂丸翁などもさうではなかつたらうか。花大人なども擧げたら面白くはなからうか。下つては今は東京で遠く滿洲を睨んで鬱憤やるせないかに聞く笠木良明氏など語つたらどんなものだらうか、さうした際に思出されるのは鄭孝胥氏など然りである。

「君は滿洲で誰が一番好きか」これは妙な質問だが、無邪氣な人間に滿洲の建國以來の今日までの人物を聞いたなら、一體どんな回答があるだらうか。そこには「鄭孝胥」といふものはないであらうか子供なら、その英雄心に訴へ若しくば愛郷心に訴へたならかういふ返事をせぬだらうか世界の英雄がヒットラーやムツソリーニであるならば、それとは別な意味に於てでも、さう答へはせぬだらうか。若しも人ありて筆者に問うたなら筆者は左樣即坐に返事をする。

先般奉天でその子息であり奉天市長である鄭禹氏と會見した。このためには滿日論說委員長金崎賢氏が、親切な紹介をして下さつたことに先づ感謝を申上げたい。鄭禹氏と會つて何を感じたか、「好きな人物だ」といふことだ。こゝには全く理由はない。筆者は何も聊さかの恩義はない。今でも將來恩義に預からうなどとのケチな考へでいふのではない。たゞ「好き」だからである。「父はいつてゐたですよ自分の住宅は貧弱でもない民衆一般がよくなればそれでよい」、さういふ筋の話を色々と鄭禹氏から聞いたが、筆者の信ずる限りに於ては、何れも首肯ける言葉だ。禹氏はまことに良くその父君をみてをられる。父君ほどの器量でないかもしれぬ。けれどよく父君の敬すべきを敬して懲みがない。さういふ父君のことを語られる時の禹氏の言葉には力がありその面色には晴れやかなものが一杯漲つてゐた

バクゲキ機

犬と生きる女

―池田小菊「奈良」―(『文學界』十一月號)―

典型的な小市民生活の描寫である。若くして死んだ姉の子供たちを世話しながら、犬を育てゝ暮す生活。その犬の上に起る色んな出來事、それがたんねんに描かれてゐる。いかにも女流作家らしい心づかひのあらはれた作品ではある。たしかにこのやうな作品もあつていいものであらう。これも一つの生活なのだから。しかし、いかにも斯うした世界に、かうした生活に安んじ甘んじてゐるらしいこの作家の氣持が、若干の反撥を感じさすのである假りに一つのことをいへば、こゝに描かれてゐる人々が何處から生活の資を得てゐるのかが判らない。これはたとへば、映畫で終日遊んでばかりゐる人物が出て來たりする、それに對して持てるのと同じ不安なのである。不安であるとともに不誠なのでもある。一人に一作あれば澤山な作、さう思へるのである。(御垣衛士)

日日狂歌

无志幾

海邊巖

その邊だそこだと背をかゝせつゝ肩のほくろを岩と見るかな。

廣東陷落

白耶土にたやすく上り廣東もとん〳〵と十日で落ちぬ。

春風(十一)

張天翼作　大藤魏譯

「淸潔すなはち衞生です」

丁老師はうなづいた。

「さうだ、衞生だ、これは一番大事なことだ、豫防注射をするとか、種痘を植ゑるとかみな衞生だ、種痘を植ゑないでゐてもいいかね?」

「いけません!」

「おう、さうだ、いけないんだ、種痘をやらないと廖文彬みたいにあばたになる…廖文彬、お前はどうして種痘をしなかつたのか?」

「知りません」

廖文彬は泣き顏になり、袖で唇を拭いた。

つづいて丁老師は廖文彬の顏をさしてひとくさりやつた恰かもこの小さな餓鬼が何か惡い事をやつた、大きな誤ちをやつたといふ風にだつた。彼は暫らく肩を聳かし、それから眉毛を揚げてゐた。彼は最後には兩手で自分の顏をあちこちと指し、口をひつこめた。

「ふうん、何處も此處もじやんこだ、汚い、あゝ!」

下ではどつと笑つた。拍手する者さへゐた。足を踏み鳴らしたのもゐた。

廖文彬はわつと言つて泣き出した。

教壇の上のかの人物も彼を眞似た、彼もワーッと叫んだそれからけんめいに笑ひ出したいのを耐へ、兩の唇をまげ眼をシバ〳〵させた。

「何を泣くんだ?自分でじやんこになつて人を恨んでも仕方がないぢやないか?」

又ワハハの笑ひ聲だつた。

丁老師は手を下にして放つて置いた、腹を突き出して待つてゐた、顏はぴか〳〵光つてゐた。

「尤福林」

最後に彼は叫んだ。

「お前人を笑ふことは出來ないぞ、お前の頭は出來物だらけぢやないか、じやんこと同じに汚いぞ、全く汚いぞ!……」

彼は一枚の絹布を引つ張り出して口を掩つた、こつそりケタ〳〵と笑つた。それから外の者が靜かになるのを待つてゐた、そして彼はやつとまじめな顏付になり、例に依つてこの組では誰が一番淸潔かと尋ねた。

みんなはもうとつくに丁老師の氣質を吞込んでゐた。

「林文侯!」

つゞいて……みんなの視線は石を投げたやうに林文侯の上に注がれた。

この最も淸潔な生徒は急いでかしこまつた顏付をした、口もきつかりと結んだ。眼だけはあちこちに動かしてゐた彼の坐り方はこの上なくきちんとしてゐた、胸もいつぱいに張つてゐた。背中には大きな凹みが出來てゐた。それを見ると餘り上出來でない石像そつくりだつた。

丁老師はその絹布で鼻涕を拭いた。彼は眉毛をあげて次を續けやうとした、と忽ち林文侯が叫び出した。

奥の變貌

奥一、あの特徴のあつた長髮を短か目の普通の髮としそれをわけ、協和會服を着て歩いてゐる▼此變貌一寸受け取り難い、彼のお母さんすらが他人と間違へたりする位なのである▼「俺も義勇奉公隊の寛城子の隊長だからね!」さうは言ふものの本人も幾らか寂しいらしい、桐一葉落ちて天下の秋を知る、奥の長髮斬り落されて寛城子の秋も深いのである

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△吉林商工月報(七月創刊號)「商工公會について」中川貫一郎「銀行業務の説明」「明年度商業經濟省政方針」「黄煙に關する調査」「印花税法の要領」等を掲載す(吉林市財神廟胡同、吉林商工公會、非賣品)

△書香(九月號)加納三郎「觀照的理解の頂點と限界」等を收めた支那民族性特輯である(大連市東公園町、滿鐵大連圖書館 五錢)

△滿洲遞信協會雜誌(九月號)(新京順天大街一〇〇一、滿洲遞信協會、二十五錢)

△結革(十月十八日號)(治安部調査課)

△和風(第一號)(奉天稻葉町二九、和風會 十五錢)

△滿洲良男(二十三號)「最近に於ける滿洲國の治安」その他(關東軍司令部)

△正金週報(四二號)(横濱正金銀行調査課)

世界へ輸出

健康の長期建設

複合ヘーフェ菌劑 胃腸榮養

若素 わかもと

秋から冬へ！次第に迫る寒氣に對し、堂堂と抵抗出來る自信はお有りですか？平素から虚弱で、一時凌ぎの手段で辛うじて危機を切り拔ける程度では、やがて寒さの加はるにつれて呼吸器を犯され胃腸を害し、貧血や冷え込み等も起つて來ませう。それらを悉く克服するに足る强靭な頑健體質を造るには……

快食し快便なれ

胃腸機能を細胞から活潑に

"どうも飯がうまくない、便通が停滞する"といふのが病弱者に共通の悩みです。胃腸病は様々の症狀に囚はれて化學的對症藥を濫用してゐる内に慢性化してしまふことが非常に多いのですが、若素(わかもと)は胃腸病の根本原因となつてゐる胃腸壁細胞の衰弱に、再起の活力を與へ、立直つた胃腸自身の力で炎症や無力や蠕動の變調から脱却せしめます。かゝる原因療法を實行して、始めて快適な食慾は腹の底から湧き上り、食べ物は消化よく胸もたれせず、常習性の頑固な便秘も易々と快通するのであります。

氣道粘膜の强化

白血球の喰菌力を旺盛に

肺炎、結核、感冒の病菌は、鼻、咽喉、氣管の粘膜を通じて侵入します。これが防衛は專ら白血球の司る所でありますが、若素(わかもと)は非特異性刺戟と呼ばれる複合ヘーフェ菌特有の作用で以て白血球を増殖し、その喰菌力を旺盛ならしめ、病菌の侵入を許しませんまた既に發病してゐる箇所に對しては病菌の勢力を挫き治癒力を著しく増進する效果がありますので、呼吸器病の治療にも廣く賞用されて居ります。

貧血と冷え込みは

増血榮養で體内より温かく

貧血や冷え込みは生れつきだと諦めてゐる人が多い。しかし遺傳などは極めて珍しく、大部分は長い間、造血素の不足して出來た體質なのであります。從つて外部から温めても根治する筈はありません。造血に必要な榮養素はヌクレイン、鐵分、燐、銅及び各種ビタミン、ホルモン等ですが、若素(わかもと)はこれらの優秀な給源ですから、連用されます時は血量豐かな體質と化し血色も鮮やかとなり、體内温暖にして冷え込みを知らぬやうになります。

婦人の健康藥

婦人はその體質と運動不足から、便秘、貧血、皮膚汚染等が多く、早く年を取る傾向があります。

若素(わかもと)は細胞賦活作用で腸組織を强め、殺菌、増血、榮養等の綜合效果を發揮する婦人の健康藥であります

代用藥無し！

若素(わかもと)は數千種を算するヘーフェ菌の中、もつとも醫藥的價値に富む優秀なる特殊の菌種を特許方法により製劑化したもので、その主菌は日本藥局方『藥用酵母』試驗に合格したのみならず、白米食に缺乏するビタミンB1 B2の含有量はあらゆる生物を通じて隨一なる有名品です。最近類似品が殖えましたので若素(わかもと)の名に御注意下さい。

全快の喜びを語る

發熱、血痰の肺結核に惱まされて

朝鮮咸興府本町 鄭明烈

忘れもしません、昨年の六月八日の事でした。醫者はレントゲン寫眞(胸部)を丹念に調べながら重々しい口調で初期結核の宣告を與へました。そして私は病院治療を受けるには、餘りにも經濟的困難に苦しめられてゐました。そこで私は藥物療法を試みました。藥は×××と肝油でした。しかしいくら經つても微熱は取れません。二ケ月程經つても少しもよくならないので自暴自棄になつても無理な事もしたりしました。そのせいか十二月七日遂に血痰が出ました。驚いた私の眼に姿を現はしたのは若素(わかもと)でした。服用する中に急に食慾が湧いて來ました私は元來胃腸が弱いので肝油の様なものは、消化されず、食慾不振の原因ともなつてゐたのです。その私に食慾がついて來たのです。この様にして若素(わかもと)を服用初めてからさしも頑强なトーチカにこもつて暴威を振つてゐた微熱も解決しました何んたる幸福、醫者の所へ行つて診察して頂きましたら、大分よいとの事です。レントゲン寫眞の結果も同じでした。あゝ我勝てりその時の歡喜は舌や筆では到底盡せません。

慢性胃腸病で六貫目も痩る

東京市淺草區松葉町 上野珠代

二三年前より大便の色が悪くなり、五尺足らずで十六貫もあつたのが、段々痩せてとうとう十貫餘になつてしまひました。今まで好きだつた刺戟物があつても食べる氣になれず、勿論甘いものも食べられなくなつてしまひました。それに一番困つた事は口の中一面に小さいエボの様なものが出來、物の味が全然分らなくなつてしまひました。そこで遂に今までかゝつた事もない醫者に診て貰ひましたら、慢性胃腸病と宣告されました。私は職業(美容院)を持つてゐましたのでその方も休まねばなりませんでした。私すつかり悲觀してをりました處、藥局を開いてゐられるお客様から無駄と思つて若素(わかもと)を服用してごらんなさいと言はれました。續けて服んでをりますと口の中の腫物が知らず知らずの中にとれて來て、物の味がはつきり分つて參りました。その後服み續けました處、口中の荒れが治りましたら、自然と食慾が出て參り、胃の調子がよくなり血色も出て來、體重も知らず知らずの中に増えて來て、心から朗らかになつてそこで長い間休んでゐた職業もボツボツ初めました

WAKAMOTO 若素

病氣見舞・慰問袋に喜ばれる若素(わかもと)

藥價低廉　三百錠　一圓六十錢（二十五日分）

發賣元 株式會社 わかもと本舗 榮養と育兒の會
東京市芝區公園・大阪市天滿橋・奉天信濃町

これ私用と見たは僻目か……

休日に何んの御用 走る官廳自動車

近頃又目立つ二千臺の番號 お役人に御注意！

資源擁護の建前から一滴のガソリンをも無駄にしてはと國都諸官廳では曩に自動車の使用につき制限し、殊に私事に使用することを嚴禁、爾來出動退廳に際し自動車で玄關から玄關への習慣もぶつつりその跡を絶つた、最近官廳の休日であるべき日曜、祝祭日等に於て市內を疾走する自動車の中に番號二千臺の自動車がうんと增加、心ある人々の注目を引いてゐる、由來國都に於ける自動車番號は一千臺が營業用二千臺が官廳用、三千臺が自家用各會社も含むとされるのが掟となつてゐる、隨つて街を疾走する自動車はその番號を一見することによつて三者のいづれかを確然と判別することが出來るのである、二千臺の自動車が休日街に氾濫することは常識上考へられざるところであるが、現實に市民の瞳にこの矛盾が映ずることは必然官廳用自動車が私用に濫用される事を物語る證據であると共に地方官廳街からも自動車の私用嚴禁制が日と共に崩れつゝあると憂ふる私語は次第に擴大しつゝある、世は富家强國運動に一枚の紙片をも節約、銃後の護りを一段强固にと絶叫されてゐる最中にあつて、國民の指標となるべき官吏が自らの規約を破り私事に自動車を濫用する傾向に對して深く自戒を要望されてゐる

愈よ女辯護士實現 三女性見事合格

【東京國通】昭和十三年高等試驗司法科(辯護士試驗)の晴れの合格者二百四十二名は一日午前十時司法省から發表されたが新進の法學士、苦節十數年の老書生等とりどりの中に紅三點の女性が見事合格し茲にわが國はじめての女辯護士が三名出來た

昭和十一年女性にも辯護士の受驗を認める旨を公布して以來女辯護士を主題にした小說や芝居が幾つも現はれ、水谷八重子扮するところの女辯護士の舞台姿等大變な人氣を博したものであるが、いよいよ想像の所產ならぬ本物の女辯護士が實現したわけである

性のために萬丈の氣を吐く女辯護士は杉並區高圓寺久米愛子(二八)、麻布區笄町武藤嘉子(二五)、世田ヶ谷區烏山田中正子(二九)で三女史とも明大法科の出身である

侍從武官那欣双和爾上校歸京

熱河省西邊に活躍中の國軍を慰問するため皇帝陛下より御差遣の侍從武官那欣双和爾上校は慰問の日程を終了、一日午後三時新京着列車で歸京したが直ちに宮廷に參內、皇帝陛下に拜謁仰付けられ國軍の活躍狀況につき逐一御報告申し上げた上退下した

新京燃燒相談會 設置意見有力化す

二十七日より三十一日迄煤煙防止委員會を始め各機關總動員のもとで開催、富家强國運動の一翼として行はれた煤煙防止と石炭節約週間は三十一日をもつて終了、この運動に刺戟された在京技術者連は、煤煙防止と石炭節約研究の常設機關として新京燃燒相談會を設置せよとの意見が有力化したことは極めて注目されてをり、當局は市民に對し左の如き談話を發表した

十七日以來市公署及び協和會首都本部共同主催、新京煤煙防止委員會並に日滿商事株式會社共同後援の下開催された煤煙防止、石炭節約週間は燃燒相談所を始め講演會に座談會に又講習會に豫想外の反響を呼び起し何れも好成績裡に一日を以て其幕を閉ぢたが、特に第五第六日目に行はれた一般火夫其他燃燒技術者の座談並に講習會は日々百數十名の關係者集合、最も眞摯なる態度にて終始したが此の機會に技術者間に積極的に煤煙防止と石炭節約を圖るため、滿鐵、滿炭、房產會社中銀、電々、電業並に政府等の燃燒技術者によつて新京燃燒懇談會とも稱する常設の會合を結成し、懇談或は機關誌の發行等によつて自發的に相互の技術的向上を圖らんとするものであることは注目されてゐる

交通事故の張本人…… 危いトラツク

從業員の注意喚起

首都警察廳保安科では交通事故の絶無を期して大童活動中であるが、事故のすべて自動車によるものでその原因はスピード違反が七十%を占め次いで車の直前直後の橫斷の場合、左小廻り右大廻りの廻轉の場合に於ける違反、避場に不充分の場合等に因つてゐる殊に最近の事故の多くはトラツクによつて惹起されてゐる情況鑑み同科に於てはトラツク營業者及從業員に對して注意を促すこととなつた

生長の家講演會

生長の家本部理事秋田重季子爵、講師吉田國太郎兩氏は二日午前六時五十三分着列車で來京、八島通ミクニホテルに投宿、午前中市中見學、午後四時より中銀クラブに於ける歡迎會、七時から祝町太子堂で秋田理事の非常時と日本精神吉田講師の人生行きつまりなしと題する講演、四日午後七時から西廣場倶樂部で秋田理事の富家强國の實踐、吉田講師の反事如意と題する講演がある外、到着の日から數回誌友宅、青年學校女子部、ミクニホテル等で座談會、誌友指導が行はれる、詳細はミクニホテル二―五五二二番へ照會のこと、尙一行は五日午後一時四十分發奉天へ向ふ、又中銀クラブの歡迎會出席者希望者は中銀庶務課嘉村氏二―三九二の三五二へ申込まれたいと

電業創立記念 武道戰々績

滿洲電業創立四周年記念三段以下段別柔劍弓道大會は一日午後一時より電業都南寮道場に於て市內各官廳會社の選士百六十名の參加で潑剌と擧行され左の諸者奮鬪優勝した

▲柔道 △三段 一等朴(中銀)二等濱崎(電々)三等藤野(滿拓) △二段 一等小林(電業)二等竹內(電業)三等堺(滿拓) △初段 一等松本(電業)二等村里(中警學)三等堤(產業部) △段外 一等山之內(電業)二等多田(京商)三等平瀨(京商)

▲劍道 △三段 一等敷根(電業)二等富樫(滿拓)三等飯村(首警) △二段 一等吉井(滿鐵)二等增盛(滿炭)三等井出(電業) △初段 一等山口(滿裝)二等志賀(首警)三等佐藤(京商) △段外 一等久玉(京商)二等小笠原(京商)三等泉(日滿商)

▲弓道 一等八中、杉村(採金)二等八中、千崎(滿鐵)三等七中、井上(滿鐵)四等七中、福田(電々)五等七中上加世田(電業)

▲扇的賞 二村(滿鐵)

傷病兵着京

哈爾濱陸軍病院に入院加療中の白衣の勇士四十六名は、一日午後三時十分新京驛着直ちに新京陸軍病院に入つた

王道國都 理想市政實現へ

三綱領に盛る刷新氣運

躍進滿洲國の姿を表徵し、發展膨脹の一途を辿りつゝある國都新京も愈よ第二の建設期に入つたので外形的整備より內面的充實飛躍に主力を傾注して理想的市政の運營を期することとなり、この度左の如き市政三綱領を掲げ明朗國都建設の方向を明らかにした

一、王道國都としての面目を自覺し市政全局に亘り之が刷新を計るべく「政治の王道化」を期すること

二、日滿兩國精神一體、御聖旨を奉體し兩國市民の和親協力を計りもつて徹底的なる日滿の一體化を期する事

三、政治の王道化と日滿の一體化は先づ我等の國都新京に之を具現强化しもつて全滿の軌範たるべく「官民の一心化」を期すること

等で第一綱目に於ては署內の人事を活潑ならしめ沈滯せる空氣を除去し淸新の氣を絶えず注入し、市政各般の上に活潑にして明朗なる空氣を反映せしめ、二、三の綱領については協和會組織と密接不可分なる關聯性のもとに、將來は國建をも合併して完全なる一元化を圖り全滿の軌範たらしめ樣といふ心構へを示したものである

あじあ脫線原因

スピードの出し過ぎ

あじあ脫線の原因についてはその後奉天鐵道局で種々調査中であつたが大平山驛構內は速度制限區間に拘らず乘務機關手が速度制限を誤りたること判明した、なほ重傷の機關助手星野猛吉君(二七)は大石橋病院入院加療中のところ卅一日午後三時四十五分死亡した、小淸機關手、時田機關助手は生命に別條なし

木內警正榮轉

首都警察廳警務科警務股長警正木內文三氏は今回大連勞務協會總務部長に榮轉二日午後九時四十分發列車で赴任する

滿化幹部就任挨拶

滿洲電氣化學工業株式會社理事長山崎兄幹、常務理事難波經一、理事高井恒則、監事王聘之、同大礒義男の五氏は一日就任挨拶に來社した

銅像除幕式を前に 父・兒玉大將を語る

毅然たる武將の一面 人一倍の子煩惱

滿航社長兒玉常雄氏の追懷談

滿洲三先人記念事業委員會の建設にかゝる兒玉源太郎大將の銅像は本邦彫塑界の權威北林西望氏が畢生の事業として精魂を打ち込み製作に從事してより一年八ヶ月此の程美事に竣功新京西公園正門內所定の位置に据付も完了し十一月三日明治の佳節をトして故將軍の四男滿航社長兒玉常雄氏、八重子夫人令息令孃六男兒玉八郎氏同夫人、順子嬢子兩令孃ら遺族を始め在滿顯官紳士五百餘名參列し盛大なる除幕式を擧行することゝなつた、故陸軍大將兒玉源太郎伯爵は日淸の戰役より既に大山巖元帥の幕下に在りて元帥を輔け殊に日露の戰役に於ては參謀次長或は滿洲軍總參謀長として東亞の和平挽回に對する萬全の謀を策し遂に大滿洲をして樂土の基礎を築かしめまたポーツマス條約に於て我國が露國東淸鐵道の一部を讓り受け淸國との協定亦成立するや南滿洲鐵道株式會社設立委員會委員長並に滿洲經濟調查委員會委員となるなど滿洲開發の始祖と稱すべき大先人である、爾來春風秋雨三十三年を閱せる今日茲に舊滿鐵附屬地の最北端新京(舊名長春)の地に於て故大將の風格を仰ぐを得たるは單に滿鐵二十萬社員の感激のみならず在滿邦人の最大の感激でなくてはならぬ。

△——▽

兒玉家々譜に據れば故將軍はその祖を饒速日命に發し維新前の物情騷然たる嘉永五年四月五日德山藩士兒玉半九郎忠碩の長男として生る幼名は百合若後改めて健。諱は忠精、源太郎。藤園と號す。慶應元年十四歲にて元服「源太郎忠精」と名乘る、明治元年十七歲にて獻功半隊司令として出陣せるが初陣にて明治四年八月六日廿歲にて陸軍少尉に昇り九月二十一日陸軍中尉に進む明治七年二十三歲にて陸軍少佐に任ぜられ、岩永マツと結婚す、明治十六年三十二歲にして陸軍步兵大佐に任ぜらる明治廿年三十六歲にして陸軍大學校長に兼補さる、同二十八年四十四歲「征淸の役軍功顯著なるにより」特に男爵を授けられ特旨を以つて華族に列せらる功三級金鵄勳章を賜ふ、明治二十九年四十五歲陸軍中將に任ず、明治三十一年四十七歲第三師團長に補す台灣總督に任じ第三師團長を免ぜらる、明治三十三年四十九歲陸軍大臣兼攝す明治三十六年五十二歲內務大臣兼台灣總督に任ぜらる十七日文部大臣を兼攝す明治三十七年五十三歲大本營動員下令大本營參謀次長兼兵站總監に補す六月六日陸軍大將に任ぜらる二十日滿洲軍總參謀長に補す。三十八年五十四歲十二月七日東京に凱旋す二十日參謀本部次長事務取扱仰附けらる。明治三十九年五十五歲「戰功により」功一級金鵄勳章及年金一千五百圓旭日桐花大綬章を賜ふ參謀總長に補す、勳功により特に子爵を授けらる七月十四日南滿洲鐵道株式會社設立委員長仰付けらる、二十三日特旨を以つて正二位に叙せらるこの日薨去す。

△——▽

以上年譜の略記を見ても如何に智略縱橫の才腕と明晰なる頭腦の名將であつたが想像される、十七歲より既に兵馬の巷に驅馳せるところより家庭は寂しきものであつたかに思はれるが事實はさにあらず現嗣子秀雄伯を頭に七男五女の子福者であり然かも全部揃つての榮達は羨望の的となつてゐる、人一倍子煩惱であつたことも陸軍次官當時大戰後の經營に多忙を極めてゐる將軍各方面へ令息秀雄のために政治學よきか法律學可なりやを質したことが明治廿九年十月六日仙台第二高等學校に在學中の令兄に宛てた手束「…色々開合候爲め…」といふ字句によつて見ることが出來る

△——▽

明治佳節に父將軍の除幕を待ち佗びてゐる滿航社長兒玉常雄氏を奉天平安通三一の氏宅に訪問すると闌切の手術で仰臥中であつたが頗る元氣で

各方面の方々の御盡力で立派な父の銅像が建立されたことは兒玉家の名譽これに過ぐるものはありません、子として何と申上げてよいかお禮の言葉もありません

と冒頭して子として見た兒玉將軍に就いて左の如く語つた

いろいろ本や雜誌に父のことが書かれてゐるがどれも本當に近いものはないやうだ、日淸戰爭、台灣總督、日露戰爭と東京を離れて居た方が永かつたし東京に居るときも家に歸ることは一ヶ月一回か二回位のものであつた、陸軍次官時代たまに歸つて來てもその頃僕は小學校の兒童で親父を偉いともこわいとも思はぬ時代だから一人で飛び步いて遊んでゐたので妹をつれて散步してゐたやうだそれから僕は幼年學校士官學校へと進むにつれ親父と一緒になる機會は次第に少く遂に日露戰爭となつた、日露戰爭の時僕は二十一歲で工兵少尉に任官したが赤羽工兵隊に殘されて出征出來ずいよいよ戰爭が終つて皇軍は內地の凱旋し青山練兵場で大祝賀野宴が開かれたとき始めて親父と參列することが出來たこの時は明治天皇も出御遊ばされみんな陸軍の正裝で參列したものだが親父は陸軍大將僕は少尉さんだ一緒に行かうと云ふので家の玄關から馬車で親子同車して行く途中、途行く將校は、一々立ち停つて親父に敬禮をするが僕は少尉だから一々將校に敬禮せねばならぬのに車の上でとてもきまりが惡かつたものだ、親父について一番印象の深いことゝ云へばあの時位のものだらう、登廳は大抵馬車で自分が馭して行く姿をよく見たものだ、酒も飲んだし趣味は何でもやるといふより好きの方だつたやうだ親父を一番よく知つてゐるのは兄弟のうちでは東京の兄と陸軍では堀內中將國司中將尾野大將といふたところだらう、五十五と云へば年寄りといふ程ではないがまあ天命だね

とそつと正裝せる將軍の引伸し寫眞に眼を注いだ、側から八重子夫人が

小村さんの銅像と大連へお着になつたのは一諸だつたさうですね、これも何かの因緣でしやう除幕式當日は良い天氣であつてくれゝばと念じて居ります

と兒玉家は感激と感謝の雰圍氣で一杯だつた

【寫眞】在りし日の藤園將軍と父を語る兒玉滿航社長

滿洲迄來て日本人同志間の醜惡な爭ひをみせつけられるのは實に不愉快極るが時たま日滿人間で美はしい兄弟愛の如き眞實をみせつけられることもある、探してもみつからないが、ひよつとしたところにある、うれしいものだ▼バスの中にもあつた、康德會館の前で「切符」と車掌がいつたので一人のお爺さんが切符を渡して降りた、君いかんぢやないか今降りたら乘り換へ切符を買はにやならん何故教へてやらんのだ、運轉手はさう車掌をどなつて發車しかけたバスをとめた、だがお爺さんはもうどこかへ行つて姿がみえなかつた▼爺さんの目的地はこのバスのもう少し先に行つた停留所からほど遠からぬ所であつた、バスをのりかへてもそこ迄は同じ程の距離があるのだ▼だから運轉手は何時迄も機嫌が惡かつた、お爺さんに氣の毒をしたと思つてゐるのである、感心な人だと思つて名札をみたら玄明善とあつた十一月一日の朝三號線の出來事である

天氣と氣溫 けふの天氣 南の風晴時々曇 きのふの氣溫 最高一三度七 最低零下二度一

若殿膝栗毛

中川雨之助 作
竹 一 畫
（土上讀 上）

（百六十一）

鬼奴ッ！

「あッ、桃吉か」
難波屋は、桃吉を知つて居た。
しかし爰で逢ふのは意外だつた。
「旦那、大變です、早くお逃げなさい」
桃吉は、いきなり先づさういつて、頻りに後を振回つた。
難波屋は、思はずドキンとした。時が時、不安が颯と背筋を冷たくした。
「一體、どうしたといふんだ。何故逃げるのだ？」
「あたし、今まで郷屋に居ました。牧野の殿様が、御家来に、旦那を殺して来いといひつけました。あたし、殿様のお座敷から、ソツと脱けてお知らせに来ました。家来が、追つて来ると大變です……まあ、早く逃げて……」
「さうか、有難い。よく知らせて呉れた……」
桃吉が、親切にしてくれる意味は、難波屋によく分つて居た。
難波屋も、同じ北の色街に米八といふ馴染芸者があつた。その米八と桃吉とは、眞の姉妹にも劣らぬ仲よしで、その縁故で、桃吉も贔屓になつて居る。
米八と難波屋とは、互に好き合つた仲である。桃吉が兵庫に身を委して居るのは、金づくで、決して好きでない。
だから、桃吉に取つて、兵庫より寧ろ、難波屋の方が大切な客であつた。
そこで、さいぜん難波屋を追返したあと、兵庫は、家来に命じて「難波屋を途中で、殺してしまへ」と命令した。
それを桃吉が聞いたから堪らない。ソツと座敷を脱け、郷屋の裏口から、難波屋を追つたのである。
しかし、難波屋は、堪らなく口惜かつた。
「ぢやあ、牧野さまは、さつき御口に居たんだな」
「えゝ、奥で御酒を召上つて…」
「留守を狙つて、追返すとは酷い！」
難波屋は、歯噛みをした。
「おまけに、散々旦那の悪口を云つて……」
「え、わたしの悪口を……やつぱり、さうだつたか」
腸をしぼるやうな溜息とともに難波屋の胸は、更に怨みに燃えあがつた。
「今日、お蔵屋敷で、あの空々しい態度といひ。やつぱり、わし一人を深みへ突き落して、自分は好い児にならうとするのだ」
武士の専横が憎らしい。町人と生れた身の弱さが辛い。
難波屋の眼に、涙が湧いた。
「わしは、是から、米八の處へ行から……おまへは、どうする？」
「あたしも一緒に、姉さんの處へ……。このまゝ郷屋へ帰れば、あたし、手討になるかも知れません……」
「さうだ。鬼の兵庫奴！」
難波屋は、兵庫の惚れ切つて居る桃吉を、兵庫から取上げてしまひたかつた。今の場合、それも復讐の一つのやうに思はれた。
「よし、一緒に行かう、さあ。[illegible]路には、駕籠があるだらう」
難波屋は、快の手拭を頬冠りして、桃吉の手を曳いて、好いた同志の道行といふ恰好。これも人目を憚ります手段と、歩き出した。
と、まだ十足とは歩まぬ中。
「きやッ」と、叫んで、桃吉が[illegible]咬みついた。
驚いた難波屋、よろけながら透したが、忽ち全身に水を浴びたやうになつて棒立ちになつた。
數歩前の闇の中に、覆面の武士が四五人、屏風のやうに、道をふさいで立並んで居る。
云はずと知れた、兵庫からの刺客である。

新京日日新聞
夕刊 十一月二日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(2)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

統一政權の樹立へ あす南京會議開く

維新、臨時兩政府諒解事項

【南京一日發國通】維新政府梁鴻志、臨時政府王克敏氏以下北京、南京兩政府代表は三日の聯合委員會開催に先だち一日午後三時より頤和路の北支代表一行の宿合において南京會議の最重要議案たる中華民國統一中央政權問題の取扱ひに關して會談をとげた結果つぎの如き諒解に到達しこの方針の下に今次の南京會議及びその後の工作に對處することゝなつた

一、廣東及び漢口兩地方陷落の新事態に基き抗日を掲げた蔣政權の紐結を脱却し反共救國、中日提携を標榜する新興政權が續々樹立されんとする氣運にあることは東亞平和の確立と中華民國の再建を目指して鋭意努力してゐる北京、南京兩政府としては慶賀に堪へぬ所であつて、中國統一中央政權の樹立はいよいよ其近きを確認するに至つたが維新、臨時兩政府としてはこの統一政權問題については大體左の方針をもつて臨む

二、統一政權の樹立については先づ反共の國民的精神を昂揚せしめこの國民的運動の浸透徹底をまつて徐ろに民意に立脚した新統一中央政府樹立をはかるべきであること

三、前回の第一回聯合委員會の繼續として今次會議の議題となつてゐる蒙疆自治政府の加入問題については近く樹立さるべき漢口、廣東兩政權の誕生發展をまち全國統一的見地から論議すべきものとし二日の會議においては蒙疆自治政府の意向ならびにこれに對する見解につき提案者たる臨時政府側より説明を聽取するに止め、參加問題の決定はつぎの聯合委員會まで保留すること

四、統一中央政權の問題はその及ぼすところ獨り中華民國の將來に重大なる關係を有するのみならず東亞和平の大局にも影響するところ極めて大であるから今後北京ならびに南京兩政府ともその地理的、政治的關係を考慮し蒙疆自治政府ならびに近く樹立さるべき新興政權とそれぞれ緊密なる連絡を保ち目的の貫徹に邁進すること【寫眞は上王氏、下梁氏】

聯合委員會の議事々項決定

【南京一日發國通】二、三兩日に亘つて開かれる聯合委員會第二次會議の議事について臨時、維新兩政府代表並びに關係方面に於て一日打合せの結果左の如く決定した

△二日午前中 (一)議長推薦 (二)議長開會宣言並に議事日程討議 (三)反共救國宣言の件 (四)蒙疆加入の件
△二日午後 (一)宣言決議の件 (二)反共救國全國代表大會準備方法
△三日午前中 (一)前回未決議案繼續討議 (二)次回會議時期及び議題 (三)宣言發表

兩政府委員招待 午餐會で 畑司令官挨拶

【南京一日發國通】畑中支軍司令官は一日午後一時よりアジアホテルにおいて臨時、維新兩政府委員を招待午餐會を開いたが、その席上における軍司令官の挨拶はつぎの通りである

支那事變勃發以來一年半に及ばんとしこの間戰禍を被つた民衆の苦境は同情に堪へぬものがある、從つて國民大衆を救ひその生活、文化の向上をはかるための政治の強力なる實行が目下の急務であると信ずる、聯合委員會及び兩政府當局の努力によりその施設は着々緒についてゐるが、現實の狀態はなほ目標と大なる隔りがあるから第二回聯合會を機會に充分なる檢討審議をとげこれを強力なる實行に移し聯合委員會の面目を發揮するやう一段の御盡力を御願ひする

中伙舗完全占領

蒲圻縣城僅かに二里

【咸寧一日發國通】武漢より雪崩をうつて潰走する敗敵猛追中の寺垣部隊は粤漢線に沿つて一日朝來長驅大進撃戰を開始し官塘驛、張家嶺、洪山寨を一瀉千里の勢で突破、一日午後四時過ぎ中伙舗を完全に占領、蒲圻縣城迄僅かに二里の地點に迫り士氣愈々旺んである

長江埠を占領

【廣水一日發國通】三十日夕京漢南段の要衝孝感に迫り南方より集結中の敗敵二、三千を蹴散し同城および城外飛行場を占領した倉林部隊は更に息つく間もなく孝感南方十里の長江埠に殺到、卅一日夜これを占領した、長江埠はわが京漢線南下部隊で埋まり雲夢方面より潰走する敵孫連仲軍と孝感より京漢を越えて西方に遁走中の李品仙麾下の廣西軍とが入亂れて混雜を呈してゐる眞只中にわが倉林部隊は得たりとばかり突入、縱橫無盡に敵を撃滅し敵遺棄死體のみにても一千五百に達する大損害を與へた、同部隊は引續き一日朝來敗敵を求めて附近一帶にわたり掃蕩中である

◇……武漢を退却する支那軍

井上少尉戰死

【東京國通】同盟通信社英文部勤務社員井上理三郎氏は今次事變に歩兵少尉として應召國田部隊に屬し中支戰線に奮戰中だつたが、一日原隊から壯烈なる戰死を遂げた旨發表された

同君は大分縣中津市出身、昭和二年福岡市私立西南學院卒業後渡米インディアナ州デイポ大學を經て州立インデイアナ大學院文科に入りマスターオブアーツの課程を終了同八年九月歸朝ジヤパンタイムス入社、同十一年十月同盟通信社に入社外信局英文部員として將來を嘱目されてゐた、夫人秋子さんは一女と共に中津市に留守を護つてゐる

支那向綿布の輸出禁止近く解除

【東京國通】圓ブロック輸出制限のトップを切つた支那向綿布は去る六月日本綿糸布東亞輸出組合によつて輸出を抑留し、組合に於て支那向として輸出すべき綿布を買上げることゝなり、これが具體的處理に關し商工省貿易局では輸出組合、紡聯、棉購聯の關係團體との間に協議を進めてゐたが、大體左の如き大綱の決定を見たので、來る中旬頃よりいよいよ買上實行に着手し支那向綿布輸出禁止は解除されることゝなつた

一、支那向綿布は既成品については次の十五品種のみ組合に於て買上げることゝし、これを支那その他の綿布は出來るだけ第三國輸出に充當する、八枚繻子、五枚繻子、四枚繻子、ギヤバジン、變り綾、片綾ネル、オランダネル、ガス毛生地、卅分の廿細綾生地、上細綾生地、エム・エイ・ボプリン、ジヤコニー、太生地、別珍生地、コールテン生地

一、支那向綿布として仕掛中のものは既成品に準じ取扱ふも、出來る限り第三國に振り向けることゝし第三國向綿布としての加工は來年春物の綿布として許可する

一、滿洲國關東州向綿布は更に別個に買上を考究する

徵發米に對する わが方の見解の内容

【廣東一日發國通】卅一日附わが軍より英國副領事宛通告せる徵發米に對するわが方見解の内容は次の通りである

一、倉庫内外に英人所有たる標識なく且つ貯藏精米も英人所有物と判斷すべき何等の資料なきをもつて日本軍は四圍の狀況上これを支那人所有と判斷せり

二、英國側は十月廿八日購入契約成立せりと稱するもこれを證明すべき資料なく、また所有權移轉は該倉庫内と稱するもこれに立合ひたる支那側當事者もなく、加ふるに英國側は該倉庫内の物件の書類及び數量等を承知し非ず、これをもつても日本軍は所有權移轉の事實を認むるを得ず

三、右の如く該倉庫が英人所有たるの標識もなく契約の成立、所有權の移轉、引渡しの完了等不明にして軍は精米の現地調達を絶對必要とするをもつて合法的に徵發を實施せり

四、將來正當なる所有主判明せば正當なる代金支拂をなす

五、日本軍は更に支那人所有の精米貯藏個所を調査するも軍の自活上必要なきに至れば徵發を中止す

六、難民救濟については日本軍は相當の關心を有しつゝあり

右により軍は梁益倉庫(交易倉庫は誤り)の精米を徵發するは合法的行爲なるをもつて依然徵發を續行す、而して十月廿九日香港日本總領事よりの通報により該倉庫貯藏の精米は宋子文の賣名的行爲に基く取引として且つ經費未拂なるを知り日本軍は自活上更に多量の精米を要するをもつて茲に梁益倉庫のみならず華記、和豐兩倉庫をも差押へを實行す

半島人の一 内鮮一體更に強化 人的地位を向上

外相在外使臣に公文で指示

【東京國通】朝鮮總督府は半島統治の毅然たる一礎石をなす内鮮一體の大方針を在滿在支その他在外半島人百三十萬の日常にも及ぼし愈々帝國外地統治に確固不拔の結實を具現せしめることゝなり、今春以來外務省との間に在外半島人指導方針につき協議を重ねた結果有田外相は南總督の施政方針を斷然支持しこれを在外使臣に闡明すべく過般諒解事項を公文を以て發送しこゝに内鮮一體の根本方針は單に鮮内に止まらず帝國政府としては等しくこれが強力なる實現に邁進することゝなつた、前記公文は率直に半島民に對する新たなる認識を要求したのち在外半島人の悦服することを得ざる人的地位では兎角内地人側より受くる差別待遇のありたる事情に鑑み特にこの點に關して在留内地人側を指導、あくまで内鮮一體の趣旨に則り彼等をして欣然皇國臣民たるの自覺を持たしめられたしと附言、大膽率直に内鮮一體の前進を強調したと解される

定例參議府會議

廿四日の第五十二次國務會議を通過した左記諸項は一日午前十時開催された定例參議府會議を通過した
(一)米穀管理法 (二)滿洲糧穀會社法 (三)滿洲化學肥料工業確立要項

國務院辭令

一日の持廻り國務院會議において地籍整理局總務處長加藤鐵矢氏の病氣退官による左の如き人事が決定した

地籍整理局總務處長 加藤鐵矢 依願免本官
地籍整理局事業處長 篠原吉丸 任同總務處長 敍簡任二等 事業處長兼務を命ず

滿鐵辭令(一日附)

滿洲醫科大學參事 鳥井重夫 總裁室監査役を命ず
總裁室監事 高野忠雄 滿洲醫科大學幹事を命ず
總裁室監査役參事 總裁室監理課兼務を命ず

松岡滿鐵總裁

一日來京した松岡滿鐵總裁は午前十時關東軍に植田軍司令官を訪問要談を遂げた

谷次長南滿視察

谷總務廳次長は堀參事官外五名を帶同、三日新京驛發南滿地方禁煙狀況視察に赴くが十七日歸京の豫定

吉川專修大學教授

過般金雞學院安岡正篤氏と同道滿支視察の途來京した專修大學教授吉川兼光氏は安川氏と別れ移民地視察中のところ一日夜再び來京二泊の上三日午後九時四十分發列車で大連經由再度の支那視察に向ふ

松浦牡丹江省官消幹事長

牡丹江省官吏消費組合幹事長松浦朗氏は一日午前來京向陽ホテルに投宿、數日間滯在の豫定

人事往來

着京

▲吉川兼光氏(專修大學教授)一日着京軍人會館
▲松浦朗氏(牡丹江官消幹事長)二日着京向陽ホテル
▲山崎匡輔氏(東大教授)一日來京ヤマトホテル
▲狩野敏氏(東亞經濟調査局)國都ホテル
▲正垣儀之助氏(川崎造船所)同
▲遠藤盛潤氏(會社員)同
▲高木磐雄氏(大連汽船)同
▲高野勇氏(會社員)同
▲水知忠満氏(商業)同
▲寺本義一氏(會社員)同
▲牛塚重弘氏(商業)同
▲溝部章太郎氏(同)同
▲沼本誠三郎氏(撫順製紙常務)同
▲田中廣吉氏(工業)同
▲篠原幹興氏(會社員)同
▲北川祐造氏(商業)同
▲直吉已一郎氏(同)同
▲成田敏郎氏(醫師)滿蒙ホテル
▲兒玉八郎氏(滿鐵社員)同
▲根本富士雄氏(滿洲工廠)大都ホテル
▲山内小枝氏(東洋製紙)同
▲朝岡勤治郎氏(官吏)ニューアジアホテル
▲栗原祐賢氏(技師)同
▲須藤朝一氏(商業)三國ホテル
▲舟越七三郎氏(會社員)同
▲西島俊雄氏(建築業)同
▲菊地清雅氏(滿拓社員)同
▲溝江五月氏(會社員)同
▲清水清作氏(官吏)同
▲吉田正雄氏(商業)中央ホテル
▲吉岡義雄氏(會社員)同
▲由良重雄氏(同)同
▲岩崎善治氏(同)同
▲姉川一氏(官吏)蓬萊ホテル
▲武安鐵男氏(滿鐵社員)同
▲西澤源兵氏(官吏)富士屋旅館
▲戸田大二氏(滿鐵社員)同
▲園木謙吾氏(經理科長)帝都ホテル

出發

▲佐竹義長氏 東京へ
▲石川定辰氏 同
▲阿部俊介氏 奉天へ
▲大瀧克已氏 同
▲柏田忠一氏 哈市へ
▲小林敬三氏 大連へ
▲野上武雄氏 奉天へ
▲川瀬義三郎氏 同
▲奥平廣敏氏 哈市へ
▲辰村米吉氏 奉天へ
▲増成萬吉氏 同
▲新出信好氏 大連へ
▲中村松雄氏 羅南へ
▲川南秀造氏 京城へ
▲三宅保氏 大連へ
▲白谷信一氏 同
▲平野耕輔氏 哈市へ
▲山内一郎氏 同
▲齋藤　氏 大連へ
▲坂野彥一氏 本溪湖へ
▲入田憲治氏 奉天へ
▲米田勇氏 哈市へ
▲鈴木啓正氏 大連へ
▲磯部和夫氏 同
▲松島景三氏 同
▲井村勝太郎氏 奉天へ
▲鈴木政一氏 同
▲篠崎和吉氏 新京へ
▲安田德助氏 承德へ
▲山下正敏氏 奉天へ

その日く

□蔣介石いまに至つて河を國民に告げるといふのか、痴語夢話たるを國民は知る

□敗れて逃走する敵軍の間にすら、反蔣氣運は濃厚化してゐるといふに

□しかもかゝる時、共産派は自己勢力を地方行政機關に進出せしめるを忘れず

□また雲南では物價があがつて民衆が苦しむ、昆明の暗迷化である

□西公園が兒玉公園に改まるその改稱の所以を滿人にも理解せしめよ

兒玉大將銅像あす除幕式

滿洲三先人記念事業委員會で新京西公園內に建設してゐた兒玉大將の銅像は此の程据付を終り三日明治節の佳日をトして午前十時から盛大なる除幕式を擧行することゝなつた式は

開式の辭、工事報告（中西建設委員長）修祓、除幕（故兒玉大將令孫順子孃）淸祓、降神、獻饌、祝詞、式辭（式典委員長）祝辭（關東軍司令官、國務總理、松岡滿鐵總裁）祝電披露、玉串奉奠（神職、式典委員長兒玉家、關東軍司令官、國務總理、滿鐵總裁、駐滿海軍部司令官建設委員長、新京特別市長、北村西望氏）撤饌、昇神、挨拶（兒玉家代表）閉會の辭

の順序で擧行されるが除幕と同時に鳩籠を附けた鳩を放ち飛行機數台祝賀飛行等があり十一時祝宴を開き解散の豫定である、なほ式典の狀況はラヂオ放送を行ひ十一時十分から內地よりの尾野大將の兒玉大將に關する講演の中繼放送をなす筈である

佳日をぼくして "兒玉公園"と改稱 偉勳を永久に記念

十一月三日明治の佳節をトして滿洲三先人の一人故兒玉大將の銅像除幕式は西公園に於て擧行せられるが、これを期とし西公園は兒玉公園と改稱せられることゝなり同時に多年懸案となつてゐた同公園の入場料も正式に廢止することゝなつたが二日于市長は左の如き談話を發表した

明日明治節の佳辰をトして西公園の正面入口に建設中の兒玉大將銅像が除幕せられるのであるがこれを機會に同公園移管の際滿鐵と約束したるところに基き當日よりこれを兒玉公園と改稱し滿洲開發始祖の一人たる同大將の遺勳を永久に記念することに決定致しました歷史ある「西公園」の名も滿鐵附屬地と一緒になつた今日の大新京としての方角の上から不適當であつたがこの問題も同時にこれを解決せられるのである、序をもつて發表するが、同公園は夏季入場料を徵收して居つたが、今後は無料と定めてゐる

北村西望氏 製作の苦心を語る

兒玉大將銅像除幕式に參列の爲この像を一ケ年半にわたつて苦心製作した北村西望氏は一日午後八時十五分新京驛着はとで來京ヤマトホテルへ投宿してゐるが左の如く苦心談を語つた

先づ像の大きいことで苦勞した、熟考の上小形のものを試作して、それが作者の理想と第三者の觀察が一致するまでになつてから初めて原型作製に取掛つたのですが、それから又相當な困難でした、この像は最初哈爾濱向き（新京驛向き）の豫定であつたが建設地點が滿洲であることとから威嚴と共に新しい土地に對する溫容といふものを現はしたいと思つて種々苦心した結果擧手の姿勢を採つたので右側が向ふへ行く樣に反對の向き、即ち宮城及び軍司令部向きになつた、かうすると劍がこちらへ見えて却つて賑やかになつてよかつた、擧手になるまでも手を上げて見たり下げて見たり何度も作り直した、マントも最初無かつたものである、馬も步かせてみたり止めて見たり、首を上向にしたり下向にしたりしてこれ迄幾度も作り變へたことは無かつた、威嚴溫容を現はす爲には馬を大きくすると效果があり且つ藝術的見地よりも適當なのであるが幸ひ大將は人並より小さい方であつたから思切つて馬を大きくした、前左脚は蹄をあげてゐるが遠い所を運ばれて來る途中三本の足ではもし破損が出來たら困ると思つて草をあしらつて地に付くやうにしてあるが、こんな所に細い注意が必要で非常に心を痛めた

甲田敏郎氏 國防献金

二日大經區長中村七之助氏から東二條通り八島舘內甲田敏郎氏から國防獻金として區長宛金二圓を寄託したものであるが可然と本社に廻送して來たので直ちに所定の手續を執つた

時局下に迎へる明治節
國都を擧げて記念催しで埋まる
軍艦旗制定五十周年も記念

敵重要據點であつた武漢三鎭を完全攻略し、支那四百餘州を赫々たる吾が皇軍の武威のもとになびかせ聖戰尙續けられつゝあるといへども東洋平和の大道は既に

燦然 と展けつゝある

今日、菊花薰る十一月三日の明治節は一億同胞の赤誠を披瀝して意義深く擧行せられるのである、國都新京に於ては首都協和會分會主催のもとで、午前八時より新京神社境內で市民奉祝式、午後三時からは滿鐵西廣場俱樂部並に大經路小學校で奉祝の集ひ太子堂の菊花展覽會は午前九時より午後九時迄開かれるが當日の佳節をトして午前九時より神社境內で帝國在鄕軍人會創立記念式、十時からは西公園で兒玉大將銅像除幕式、午後一時より忠靈塔前で時局克服の決擊隊ともいふべき首都協和義勇奉公隊結成式、同時刻より西公園內で軍艦旗制定五十周年記念式並に軍艦旗市內行進を繰り展げ、午後七時よりは滿鐵西廣場俱樂部で軍艦旗制定五十周年記念の集ひ擧行、全市を擧げて奉祝する事となつてゐるが

當日 は各戶に日滿兩國旗を揭げ時局柄奉祝宴等は一切取り止めることゝなつてゐる

駐滿海軍部

駐滿海軍部では三日軍艦旗制定五十周年にあたり午前八時軍艦旗揭揚を行ひ九時十五分より明治節拜賀式を擧行する

順天小學校の御眞影奉戴式

新京順天小學校の御眞影奉戴式は一日午後二時から同校講堂で擧行されたが、これよりさき關屋新京學校組合長は大使館に出頭の上御眞影を奉戴して同校に到着、定刻本田首席訓導の開式の辭に始まり君ケ代齊唱、勅語捧讀、奉戴歌齊唱、管理者關屋學校組合長の告辭、佐藤校長の訓示があつて午後二時廿五分閉式した

日蒙の親善は小國民から
小學生の作品交換

支那事變を契機として日蒙親善關係は一段と活潑となりこのほど訪日の德王は畏き邊りより破格の光榮に浴したが、國都でも日蒙小國民を繫ぐ作品交換が蒙古會館を通じて近く行はれる——一日午後蒙古會館を訪れた東京の王嶷商會出張員は東京、愛知、三重の各小學校より依賴された兒童の作品百二十餘點を携行し

「これを蒙古の小學生に渡し蒙古小學生からの作品を送つて戴きたい」

旨を述べたので蒙古會館では日蒙親善はまづ小國民の童心を結ぶにありと早速各旗公署に送付しこれを機會に內地各校とも兒童作品の交換を行ふことゝなつた、蒙古會館では滿洲國內の蒙古事情の紹介に種々の事業を行つてゐるが本年七月高島屋及び大阪會館で開催した蒙古事情展覽會が、支那事變の影響と相俟つて豫想外の好成績を收め各小學校兒童が團體見學に來たのでこんどの作品交換申込みもこの結果とみてゐる

九日新京神社で大麻頒布式

滿洲神職會では來る九日午前十一時新京神社で昭和十四年の大麻頒布式を擧行する

首警時局講演會

首都警察廳では管下警察官に對し時局の認識を一段と深めるため來る四日午前九時より本廳に於て時局講演會を開催することになつた、講師は協和會中央本部企畫局副局長古海忠之氏である

第四回科學審議會 來る五日開催 けふ準備委員會

滿洲資源開發利用上必要な五年度以降の科學的研究事項を決定する第四回科學審議會は來る五日午前十時から國務院講堂で開くが同審議會ではこれに先立ち二日午後一時から日滿軍人會館に關係部局擔當者參集の上準備委員會を開催する、同委員會は定刻開會、神吉總務廳次長の挨拶があつたのち鈴木大陸科學院長が前回以後の研究經過を報告、各部局院提出研究事項につき各提出者より說明あり、これに對する質疑應答があつて新規研究事項を採擇、研究年度を決定して散會する、なほ部局院別新規要求研究事項は次の如く總計七十八件である

△產業部十四件△交通部五件△營繕需品局四件△大陸科學院五十五件

滿映炊事夫變死

一日午前九時三十分頃寬城子滿映スタヂオ附近保線二區玄關前で苦悶せる男を折柄通行中の保線區勤務前田亮氏（二八）が發見したが、男は間もなく絕命した、屆出によつて所轄鐵道警護隊及び小橋順天醫院長が驅けつけ檢視の結果この男は河北省生れ寬城子驛後街一六號居住滿映炊事夫齊景奎（二六）で他殺と思はれる外傷もなく食事の中毒によるものではないかと見られてゐるが、齊はその日午前七時三十分頃妻子に機嫌よく送られて出勤、同八時頃滿映で饅頭四箇を食つたもので死因に一抹の疑惑が殘され愼重を期した、當局では二日午前十時より地方檢察廳高橋檢察官、首警より島貫搜查股長、鑑識長岡現場主任等によつて再檢證を行ひ吐瀉物は首警に於て檢鏡することゝなつた

康德金融會社創立 社長に佐野義臣氏就任

滿洲金融組合創設以來理事として十餘年同組合のために努力、新京金融組合理事として六年其間滿洲金融組合聯合會監事を兼務、その敏腕を謳はれた佐野義臣氏は先頃同組合を辭し爾來獨立計畫中の處、今回市內吉野町一丁目八番地に設立された康德金融株式會社の社長に就任した

秋季競寫大會
廿四、五日展覽會
優秀品二百點を突破

秋晴れの大同公園に開催された寫友會主催、本社並に森洋行後援の秋季競寫大會は既報の如く非常な盛會であつたがその後會員の腕に撚をかけた作品が續々出品され既に二百點を突破し、ミス東洋のあでやかな麗人モデルとファンの優れた技術は傑作を產んで秀逸揃ひ空前の模範競寫會である、寫友會、本社並に森洋行では十一日審查會を開き一等より五等迄にカップを、佳作二十點に賞品を呈上、二十四五兩日寶山百貨店にて展覽會を行ふ

總務廳の日滿語講習會

國務院總務廳では新文官令實施による語學試驗に備へるため十一月一日より三ケ月間國務院講堂に於て日曜日を除く每日午前八時半より九時半迄一時間宛、林法制局參事官外二氏を講師に日滿語學講習會を開催、聽講生約百名の中に神吉總務廳次長の顏も交へ五十の手習といふ張り切りかたである

【寫眞は總務廳講堂の日滿語講習會（中央神吉次長）】

協和會中央法衙分會結成式

最高法院、同檢察廳はじめ中央司法界を打つて一丸とした滿洲帝國協和會中央法衙分會の結成式は一日午後二時より新裝成つた安民廣場最高法院講堂にて擧行、萬歲審制官の開會の辭、國旗敬禮、平田最高檢察廳次長の勅語捧讀、協和會綱領朗讀につぎ平田檢察廳次長を分會長に、林最高法院長、李最高檢察廳長、井部最高法院次長以下廿數名を顧問役員に夫々推戴した後、分會旗授與、分會長訓辭、分會宣言、分會員代表宣誓、于協和會首都本部長の訓示などあり、協和會萬歲を三唱し最後に萬歲審制官の閉會の辭に午後三時十分式を終へた

協和會首都本部事務長更迭

協和會首都本部古海事務長はこの度辭任し後任には參議府秘書局長松木俠氏が就任し二日發表された

奉天滿蒙デパート出火

一日午後九時十分頃市內浪花通り全滿一の大百貨店滿蒙デパートの二階から出火、市內消防隊總出動で消火に努めた結果同四十五分二階吳服部の一部を半燒したのみで漸く鎭火した、同百貨店の二階は吳服および洋服の賣場で當日は全店棚卸のため夜業中であつたもので出火場所は三階の吳服部及び毛皮部の賣場に當つてゐたゝめ婦人向高級吳服物等は半燒失その他什器諸設備の損害とも被害約十四、五萬圓見當と見られる、なほ二階の商品、什器等に附してある火災保險總額は合計四十萬圓となつてゐる

大河內正敏博士等來京

理化學研究所長大河內正敏博士は理研コンツエルン重役林滋賢一郞氏、企畫院技師藤澤威雄氏等と同道で三日午前七時着列車で來京、ヤマトホテルに旅裝を解いたが午前中國務院、大陸科學院、關東軍司令部等を訪問、來京の挨拶を述べ午後一時より日滿軍人會館に開かれた第四回科學審議會準備委員會に臨んだ、なほ博士等は三日午前八時四十五分新京驛發列車で哈爾濱へ向ひ大陸科學院哈爾濱分院を視察したのち四日夜歸京、五日國務院に開催の科學審議會本會議に出席した上、六日ののぞみで京城へ向ふ豫定である

下條賞勳局總裁 滿支視察

【東京國通】畏き邊りでは曩に金鵄勳章敍賜條令の改正を仰せ出され賞勳局では忠烈なる將兵の勳功に對して厚く遇される有難き御沙汰により既に第六回までの行賞を行つたが、下條總裁は滿支方面の戰線視察のため來る六日午後三時東京驛發福岡より飛行機で渡支することになつた、視察は三週間の豫定で北支から滿洲及び正勇峰事件の戰跡も視察の上今月下旬歸京の豫定でまた賞勳局宇都宮書記官等の一行は總裁とゝもに北支戰線の視察を終へた上中支方面を漢口まで現地調査するが、現地調査より歸京の上前回に引續き論功行賞がある筈である又來る十五、六日までには滿洲事變の第三次第三回の論功行賞が發表されることになつてゐる

中島大尉歸任

關東軍報道班中島大尉は二日々はとで赴奉したが、三日歸京の豫定

新京商工會訪日視察團歸京

約一ケ月に亘つて東京、名古屋、大阪等日本各主要都市の經濟、產業狀態視察中であつた新京商工公會訪日視察團々長李明誠氏一行廿一名は二日午後八時十五分新京驛着はとで歸京した

錦古線本營業開始

假營業中の錦古線承德古北口鐵道は工事完了、愈々一日本營業を開始することゝなつたので總局では關係知名士を招待、午後一時より古北口驛前において盛大なる本營業開始式を擧行した

司法辭令

錦州地方法院次長 米田正式
任總務廳參事官 敍薦任二等
法制處勤務を命ず

滿炭滿拓ラ式戰

ラグビーシーズンを迎へて滿炭と滿拓チームの試合が三日午後二時から中銀グラウンドで開催される

明大遂に四連覇

【東京國通】東京大學野球リーグ戰も卅一日の早慶戰をもつて終了したが、成績への如く明大は十戰七勝一敗二引分けの好成績を殘し四連覇の偉業を達成した

	明大	慶應	早大	法政	立教	帝大	勝數	引分	得點
明大	×	1	2	1,5	2	1,5	7	2	8
慶應	1	×	0	1,5	2	2	6	1	6,5
早大	0	2	×	0	2	2	6	0	6
法政	0,5	0,5	2	×	1,5	0,5	3	4	5
立教	0	0	0	0,5	×	2	2	1	2,5
帝大	0,5	0	0	1,5	0	×	1	2	2
敗數	1	3	4	3	7	7			

打擊王は鶴岡君

【東京國通】卅一日の早慶二回戰をもつて閉幕した東京大學リーグ戰打擊王は法政大學主將鶴岡三壘手と決定した

あす（三日）

▲明治節
▲兒玉大將銅像除幕式、午前十時
▲軍艦旗制定五十周年記念行事、軍艦旗揭揚式、午後一時、西公園海軍忠魂碑前記念の集ひ、午後六時三十分西廣場滿鐵俱樂部
▲鄕軍創立記念式、午前九時新京神社
▲日滿支書道展、寶山

今晚のまなる放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）▲七・四〇講演（東京）小泉親彥▲八・〇〇獨唱（東京）木下保▲八・三〇常盤津「常盤の老松」（大連）常磐津仙文子▲八・五五歌謠曲（大連）二葉あき子▲九・〇一ラヂオドラマ（東京）

映畫と演藝

大同劇團の「東京公演好評」

滿洲國策演劇の華々しい日本進出の第一陣を承つて去月上京した大同劇團のお目見得公演は廿七日より四日間に亘つて東京劇場に於て行はれたが卅日附都新聞の初日の批評は左の如く國策演劇としての面目を發揮してゐる點及びその眞摯さに多くの好感を寄せ、劇團の將來に對しても期待を繋いでゐる

「王屬官」三幕十場は「國境地區」よりは實もあり滿洲の國策演劇としての面目を出してゐる、然し二つの演し物とも芝居としての盛り上りがなく、八景又は十場など一唯話の筋を小刻みに追つて行く單調な運び方なので言葉の通じない者には見てゐて可成り退屈である、舞臺の用語も滿語が主でそれに鮮語、日語の入るのは如何にも滿洲國の劇團らしい、演技者は不斷は滿洲國の各機關に勤めてゐる人達だといふが若い知識人だけに何處か洗練されたところがあり、劇團結成日なほ淺いにも拘はらず、確かな演技を示してをり、その眞摯な點に多大の好感が持てる、中でも鄧固、王三耀若愚、喬瑩雪、趙剛等が光つてゐた、切に大同劇團の充實發展を祈る

れた上海映畫「貂蟬」の二作中の一部を全滿に中繼放送することになつたが、滿洲では最初の試みであるだけにその成果が期待されてゐる

「國法無私」等を全滿に放送

新京中央放送局では大同大街滿映本社内試寫室にマイクを据ゑつけ二日午後十時十分より約一時間に亘つて滿映製作部水ヶ江監督の手で製作中の「國法無私」及び最近輸入さ

松竹大船現況

▽新日本主義を提唱し文壇の寵兒として活動しつゝある林房雄最近の書卸し長篇「太陽と薔薇」は松竹大船が文藝大作として製作することに決定した、「太陽と薔薇」は新しき時代の環境に燃え上がる青年の强靱なる意志をテーマに雄大なる構想の中に描ける物語で、野心的大作として準備を進めてゐる

▽松竹大船文化映畫部では、子供の敵ヂフテリアの流行する冬季になるので、肥田晋市、鈴木三郎、谷田貝軍醫博士指導の下に「ヂフテリア」を製作することになつた、ヂフテリアの血清療法はわが國醫學界の世界的誇りとして北里博士の創始にかゝる血清免疫療法ご顯微鏡撮影により興味ある科學的説明によつてヂフテリアの豫防を徹底せしめんとする科學映畫で、シナリオは木村次郎、撮影は寺尾清である

サボテン

日本橋通り、新京最古の喫茶と食事の店だつたパレスが今度は愈よ内部をすつかり改裝してカフェに成るんだそうである、店の名も「ミナト」と改めるとか、麗人群も相當集めたとオン大の神さんが力んでゐる、詳しくは開店の日を待たう▼カフェ大新京の花花のひとり中野夢路と名乘るコ大正五年生れだといふから勘定すれば年齡はわかるが仲々若い人である、胸のへんふつくらとしてゐるのにOSHIRIは小さい、仲々お酒も嗜むのであつた

雜音

〟漢口陷落〟の特報の『スピイドサーピス』はどう豫定が狂つてか一日は「朝日」の特報が一本入つたばかり、滿映さんの言ふことは間違ひが多くて不可ん、折角の唄ひ文句『スピイドサービス』が泣からといふもの▼折しもこの日は滿映創立一周年の記念すべき日であつたのだが、これではお祝ひも言ひ兼ねる▼特料問題でゴタついてゐた日活の「續水戸黄門廻國記」もどうやら日活との話も纏つたらしく新京封切は十七日新京キネマと決定した▼最初新京三千圓、大連奉天五千圓と聞くこの特料は甚だ法外な値で、これでは商賣も出來ない、料金も安くはならぬ▼近頃はちよつとしたものにも皆な特料がついてゐると言はれるが、そんなにまでしてする内地映畫會社へのサービスは一體誰れが負擔するのかとくと考へてみて貰ひたいものだ▼滿映さんも子供の使ひぢやあるまいし、中に立つならもつと納得の出來る仕事を見せて貰ひたいものだ

晝夜用心記（六）

三村伸太郎・作　木下大雍・畫

柳屋事件（一）

柳屋の門口を少し離れた街道の傍らに、大きな柳の木が、みづ／＼と枝を垂れてゐた。

馬が、繋いである。

その柳の、暗い木蔭で、男女が睦じさうに話してゐる。

馬士の市助と、柳屋のお吉であつた。

『お前なら、安心して介抱して貰へると思つて、それでお連れ申したのだ』

市助が、お吉に頼んでゐるのは他のことではない。市助の馬に乘つたあの老人のことであつた。倉澤の茶店を出た時に、陽はもうよほど西に廻つてゐたが、馬士の客は何か苛々と先を急いでゐる樣子でもあるし、それなら今からでも富士川の渡しは間に合はぬこともあるまいと思つて、由井を過ぎ、蒲原の宿場を通り過ぎて、そこから一里八町の富士川の渡し場まで急いだのであるが、馬上の老人は、その間にも何んとしても腹痛に堪えがたい有樣であつた。

どんな大事な急ぎの御用が江戸におありになるのか、それは分らなかつたが、何も無理をして一つや二つの宿場を急いだところで、身體を惡くしては取り返しのつかないことだ、と思つて渡し場の途中から引き返して來たのであつた。

現に、市助が馬を返して蒲原の宿場にもどる頃は、馬士の客は、ぐつたりとして口一つ利けない有樣であつた。

『俺は明日の朝、蒲原を出すからな、お前よく氣をつけて上げてくれ』

『あゝ、そりやアいゝけれど……一寸寄つて行つたらどう？』

お吉は、ちよつと媚態をつくつて見せる。

『また今度にしよう』

『今夜はいけないの』

『あゝ』

『どうして……？』

『どうしてといふことはないが、惡いだらう……お客さんに、惡い氣がする』

『それもさうだね』

お吉は、素直にうなづく。

それから自分で、柳の木に繋いである手綱をほどいて、渡しながら

『心配だね……』

と、市助を睨む。

『何が』

『ふん……』

『馬鹿だな……俺の方が心配だ』

誰も居る筈はないと思つてゐたのが

『おい、市ッ』

と、不意に、背後の方で聲がしたと思つたら、伯樂の松兵衛が立つてゐた。

『あ、親方』

『この野郎』

市助がふりむいたところを、伯樂の松兵衛は、何か激しい憎しみをこめて、聞髮を入れず横ッ面を毆りつけた。

仁王と綽名を取つてゐる草相撲上りの松兵衛の一撃を喰つたのだから堪まつたものではない。可哀相に市助はあつといふ間に、ぶつ倒れてしまつた。

大きな圖體であるし、その氣性が荒馬のように激しいので、うるさい伯樂仲間でも押しの利く男だつた。

『親方……私が、何を……』

市助は倒れながらも、松兵衛を見詰めて、かう叫びかけると

『この野郎、まだほざきやがるか』

松兵衛は、拳をかためて、市助の傍に歩み寄る。

『あれ。親方、待つて下さい……』

一瞬の出來事に茫然として ゐたお吉は、男の危機を感ずると、我を忘れたようになつて、松兵衛に武者ぶりついて行つた。

商況欄（二日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	[illegible]
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	一九片一六分九
同先物	一九片二六分五
紐育銀塊	四二仙四分三
孟買銀塊	二留比二六分一

▲市俄古小麥

限月	相場
十二月限	六三仙八分三
五月限	六五仙八分五
七月限	六五仙二分一

▲紐育棉花

限月	相場
現物	九仙〇一
十月限	八仙五四
一月限	八仙四三
三月限	八仙四一
五月限	八仙二二
七月限	八仙〇九
九月限	八仙七七

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一五三留比八分三
オームラ	一三七留比八分五
ベンゴル	一二六留比〇〇

カルカツタ麻袋　鐵筋　青筋　休會

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六四弗〇〇
アナゴンダ株	三六弗八分七

外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗七五仙八分三
米日爲替	二七弗七三仙
米支爲替	一六弗一〇仙
米佛爲替	二仙六五・八分七
英米爲替	四弗七五仙三一
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	八片二分一
英佛爲替	一七八法郎七一
印日爲替	七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替

品目	相場
紐育向	二七弗二六分二
倫敦向	一志二片〇〇〇

阪神爲替

品目	相場
米對賣	二七片 [illegible]
英對買	一志二片 [illegible]

各地株式市況

▲東京株式（短期）　寄付　大引　[illegible]

▲大阪株式（短期）　[illegible]

▲大連株式（短期）　[illegible]

各地商品市況

大阪綿糸　▲大阪棉花　▲大阪人絹　▲大阪期米　▲横濱生糸　[illegible]

各地特産市況

新京　豆　寄付　引出　大連　[illegible]

東京・本郷・神誠館

木曜　己亥　友引　除　井宿　十一月三日　舊九月十二日

●一白の人　活氣滿ちたる天運日にて開店事業始め皆吉　壬と癸と丑が吉
●二黑の人　午前は幸運なれども午後は手を詰るが無事　丙と丁と庚が吉
●三碧の人　小事には差支なきも大事は後日に廻すが吉　庚と辛と丑が吉
●四綠の人　忍ぶべきを忍ばざれば生涯の計を誤るべし　庚と辛と丑が吉
●五黃の人　進むに歩を亂さぬ樣に注意すれば吉日たり　甲と巽と庚が吉
●六白の人　心晴々となり活氣に滿つる幸運日たるべし　乙と丁と丑が吉
●七赤の人　内輪揉めを生じ又金談にも故障を起し易し　丙と丁と丑が吉
●八白の人　順氣發展する大吉日婚約企業開店何れも吉　甲と乙と丙が吉
●九紫の人　凶運なれども勉め次第にて吉運に取付べし　未と庚と辛が吉